京城日報

二日夕刊

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢(郵税共) 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢 欄內一行金貳拾錢 三號活字一行金壹圓 一行は五號活字の事
發行兼編輯人 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

○鄭家屯事件交渉開始

今回の鄭家屯事件に關する我要求に就ては既に政府と林公使との間に充分の打ち合せも終れるを以て同公使は遲くも二日外交部に赴き我要求を提出して説明を加へ交渉を開始するに至るべしと(東京特電)

▲參贊官急遽歸國 林公使は二日より支那政府に對し鄭家屯事件に關する交渉開始の筈にして在東京支那公使館參贊官劉氏は急遽歸國の途に就きたり是れ日本に於ける上下の對支意嚮を齎らして北京政府に報告の用務を帶べるものなりと(東京電報)

○蒙古へ宣撫使特派

蒙軍來襲の善後策

巴布札布と張督軍との妥協は粛親王の斡旋により成立し蒙軍は目下郭家店附近より根據地に引き上げの準備中なるが三十日の支那衆議院秘密會に於て段總理の説明する處に依れば兩軍の妥協成立したるも尚ほ宣撫使を特派し將來の紛擾の因を除く事となせりと云へるが多分宣撫使としては目下北京在住の蒙古王カルチン、ビント、アラサンの三王の內を選任することゝなるべしと(東京特電)

○米國の支那電氣投資團

米國實業團により投資團體組織せられたり該團體は支那に於ける電氣事業の發達に努力すべく上海在住のマイヤー氏之が代表者たるべしと(上海電報)

○露藏劵發行成立

同時に軍需品の引受成る

露國大藏證劵七千萬圓の發行は兩國の間に調印既に成り同時に軍靴軍絨製造供給の引受決定せり(東京電報)

○露國行小包の解禁

露國行小包禁止令解禁となり再び小包の取扱を開始せり(東京電報)

○スマトラに暴動起る

アムステルダム來電に依れば蘭領スマトラ島ジャムビに暴動起り暴徒は警官二十名を殺害し地方行政官土人の醫師村長等を燒き殺し郵便局監獄等を占領せり警官は武器を携帶し軍隊は同地に派遣せられたり(倫敦電報)

○希臘王蒙塵説

サロニカ來電に曰く風説に依れば希臘王コンスタンチヌ陛下はラリツサ(希臘北部の都市)に蒙塵し同所には三百名の獨逸騎兵護衛の爲め陛下を待受けつゝありと(倫敦電報)

○希臘王退位

一日希臘王コンスタンチヌ陛下は王位を退きたり(紐育電報)

▲聯合國加擔の爲め 英國公報に曰く、新聞通信員が當局者より探知したる所に據れば希臘王コンスタンチヌ陛下の退位は皇太子に王位を讓りて聯合國に加擔せんとする新政策を實行せんが爲めなりと(倫敦電報)

○勃國對羅宣戰布告

サロニカよりの公報に曰く勃牙利は羅馬尼に對し宣戰を布告せり(紐育電報)

○羅軍諸峠を占領す

羅馬に於て報せらるゝ處に依れば、羅馬尼軍はトランシルバニヤ及びバネット州に通ずる諸峠全部を既に占領せり(倫敦電報)

○羅國港灣に露艦の到著

羅馬尼に入れる露軍はラレウドブルチへ夜中通過を開始し露國軍艦數隻はコンスタンチザ(ドブルチアの港)に到著せり(紐育電報)

○墺軍羅軍の進出前に退く

維納公報は墺軍の退却を暴露し墺軍は羅軍に進出前チクツエレダ西方の新陣地に就けりと報じ來れり(倫敦電報)

○獨逸作戰の失敗自白

ヒンデンブルグ將軍の參謀總長任命

消息通の觀測に依ればヒンデンブルグ將軍の參謀總長任命は獨逸の作戰失敗を自白するものにして恐らく同將軍の名望を以て獨逸國民を納得せしめんとするにあり佛蘭西フランダースの戰線を縮小せる結果此戰線に全力を集注し且つ君士坦丁堡との聯絡を爲さんとする目的にありと猶某消息通は斯くの如きは戰期を短縮せんとする反對の手段なる可きを指摘せり(倫敦電報)

○マセドニアに革命起る

サロニカよりの報道に依ればマセドニアに革命起り所々の希臘守備兵は義勇兵に降服しつゝあり(倫敦電報)

○獨參謀總長革職眞相

和蘭に於ける觀測に依れば獨帝の參謀總長フォルケンハイン將軍を革職せるは國民が一般に皇太子及び皇子を輔けて共無暴の擧を監視せざりしを憤慨せるを慰撫せんが爲めなり(倫敦電報)

○露軍敵を擊破す

露都發公報に曰く我軍はコベルの三四十哩東北に於て敵を擊破し多大の損害を負はせたり(倫敦電報)

○一日の捕虜一萬八千

露軍は露國戰線に於ける三十一日の戰鬪に於て捕虜一萬八千(獨兵二千四百名を含む)を獲たり(紐育電報)

○訪露上院團

三十一日日本貴族院訪露團一行は皇后アレキサンドラ陛下に拜謁仰付られスチルメル首相は夕刻晩餐會を催して一行を招待せり(露都電報)

○船舶禁輸か

帝國政府は這回船舶の輸出を禁止するやも知れず(東京電報)

○白井中將赴任

新任旅順要塞司令官白井中將は二日朝門司發の商船嘉義丸にて赴任の途に就けり(門司特電)

○陸相等の伺候

大島陸相及び島村軍令部長は二日午前九時日光田母澤御用邸に伺候拜謁仰付けられ軍事上に關する重要事件を伏奏せり(東京電報)

○モリソン博士

支那政府顧問モリソン博士は一日夕元山に著し同夜京畿丸にて金剛山探勝の途に就けり(元山特電)

◎四師團長赴任 新任第四師團長宇都宮中將は二日朝大阪へ著任せり(大阪特電)

○內地米作實收豫想

昨年に比し百八十萬石減收

東京國民新聞社が特に二百十日の厄日を期し全國各府縣農事試驗場に委囑し調査せる本年度米作實收豫想(本稿締切迄未著の熊本、大分、山口、大阪、山梨、沖繩の一府五縣は假に平年作を以て計算せり)は五千四百十三萬五千石にして之れを前年の實收五千五百九十一萬三千石に比較すれば百七十七萬八千石を減じ最近七箇年間に於ける最豐作及最凶作兩年を除きたる平均五千二百餘萬石に比較すれば二百五十三萬五千石の增收あり(東京特電)

◎八月下旬貿易出超 八月下旬に於ける對外貿易は輸出三千六百六十八萬三千圓輸入千九百萬八千圓にして千七百六十五萬五千圓の輸出超過を示せり(東京特電)

◎殿下奉迎打合 閑院宮殿下は十三日釜山御上陸十四日京城御通過の事に確定相成りたるより小松朝長、高橋武官、古城軍司令部副官、和田鐵道局參事、大田憲兵隊副官等は二日午前九時より總督府第一會議室に參集閑院宮殿下の奉迎に關する打合せを爲し十一時三十分散會したり

◎京城商議總會期 京城商業會議所は客月二十九日開會の總會に於て商、工、金融、交通の各調査部を設くることゝなり來る四日其委員會を開會することゝなり居れるが其結果更に六日午後一時より本會議を開き議場に賛否を決すべしと

◎組合會議流會 京城學校組合會は一日午後三時より開會の筈なりしも旅行其他に差支の者多く規定の定數に達せず遂に流會となりたるが未だ期日は決定せずと

◎モ氏金剛山行 支那總統府顧問モリソン氏は三十一日南大門驛著汽車にて入京朝鮮ホテルに投宿の上一日朝元山に向へり氏は二日金剛山に赴き約一週間滯在觀光の後京城に引き返へし直ちに出發北京に歸任の筈なり

◎用度主任更迭 總督府會計課用度主任安藤堅次氏の後任は同課屬太田喜太郎氏に決し太田氏の後任は同課事務官木島駒藏氏襲ふことゝなれり而して新舊用度主任は一日午後一時總督府巡視長以下雇人二百九十餘名を召集告別及び新任の挨拶をなせり

◎水利組合令案

水利組合令は此の程成案を告げたるを以て不日關係各部に廻附し其の意見を徵したる上更に參事官室の審議を求め總督に提出の筈なり現行の組合條令は光武十年の制定に係り今日の朝鮮としては極めて不完全のものなるは人の知る處なるが本令案は之を改正して規定の完備を期せむとするものにして其の內容は內地現行の水利組合法に基き朝鮮の事情を斟酌せる頗る完全のものなる由、而して本令案は總督の決裁後中央政府に廻付し勅裁を仰がざる可からざるに依り其の發布期は早くとも明年五六月の交なる可し

◎工業懸賞の審査

京城 京城商業會議所に於て募集したる家庭工業懸賞案は同會議所の囑託したる豊永博士の手元に於て審査中の所本月一日に至り全部の審査を終了したるを以て直ちに同日靑木商工課長の手許へ廻附せりと同氏に於て一應審査を行ひたる上商業會議所へ返送さるゝものなるが本月中には其結果を發表し得るの運びに至る可しと

義州

▲義州の水道 平安北道義州は水質惡しく從來石輪を以て頭を洗へば恰も下等のチックを塗り付けたるが如く殊に城內の井水は何れも褐色にして濾過して使用せざるべからざるが是迄腸チブス赤痢等の流行力を狂ならしめ防疫上常に困難を感じつゝありしが川上長官赴任以來水道布設の希望を有し愈々昨年來工費三萬圓を以て簡易水道を起工したるが該水道は最新式に則り供給人員五千人給水總水量は一日六千立方尺にて水源地は鴨綠江を以てせり工事は八月三十日機關の試運轉を爲し九月の中旬より給水する筈なり▲義州小道の落成式 平安北道廳に於て工費三萬圓を以て昨年以來施工したる義州小道は九月中旬に落成すべく十月一日開通式を擧行すべし▲大弓道場開き 義州大弓研究會は暫く休會中の處八月三十日の佳節を卜し道場開きをなしたり同會は一般有志を招待し午前十一時より試合をなし兼ねて義州神社に金的奉納式を擧行せるが盛會なりし▲獨木舟競漕會 義州有志運動家は常に同地九龍浦が一千米突の間水流淺かにして潮流の影響を受けずボートレースに好適地とせる處なるが多くの經費を要することゝて著手するを得ざりしも此程某氏の案にて同地方獨特の獨木舟(一人乘り丸木舟にて極めて輕便大なるものと雖も目方十五貫を超へず)を以て競技の具にせんとし三十一日を卜し獨木舟大競漕會を催せり集まる選手は義州、州內水鎭の三面より百二十餘名參觀人は九龍浦陸上山上一萬と註す午後二時競爭を開始したるが最初の試みなるにも拘はらず極めて巧みに競技し迅速なると發動機も及ばず往復二十町を十分間に先著する程なり競技は十五舟一組とし數十回行はれ午後六時散會したるが豫期以上の成功を收め明年の當日は一層大規模の催しをなし義州年中行事の一にせんと云ふ新記錄を作れり

□奉天より

神崎生

編輯局同人諸彥

一路平安(?)奉天についたのは三十一日の午後六時二十分と云ふに滿洲の日は朝鮮のより早く暮れて我が列車の停車場に入るを相圖に火の盆の如き大日輪は高粱の曠野に沒し申候。群鴉何に驚いてか頻りに亂れ散つて旅愁そぞろに迫り秋の身近くに蒐れる感あり候。支那馬車を雇ひ候處彷彿として昨年の今頃を偲び、長春にて野田俊作氏に乘せられし折頻りに巨大の尻に押されて暢た我が小驅を歎じたる事など獨り可笑しく思ひ浮び候て軍隊の喇叭響き渡りしが、傲然靄暮低徊す楊柳のほとり鬩晩として血の洶湧するを覺わしを不審かしと內省すれば、是又嘗て昨秋長春にて感じたる國際的血潮の日醒めにて、今更の如く我が腦裡に帝國主義の力強く浸澄し居るに驚かされ申候。

街衢整然たれども雜然として徘徊蠢動する汚穢を極めし支那苦力の群れ、さては例の支那馬車支那家屋を截然斷つが如くに滿鐵の經營振りあらはれ居り、其處に點睛するが如く軍隊の規矩整然たるが殊に感を深うしたるものかと思ひ候驟馬一過したれども天末だ全く霽れず、怪雲やゝもすれば濃くならんとする滿洲の昨日今日、殊に奉天にては鄭家屯郭家店問題さては爆彈事件等の理由により流石東三省の中軸たる要地とて、會ふ人の口を衝いて出づるものは先づ是等の問題に候。宗社黨、巴布札布さては言ふに言はれぬ內輪話の數々聞かねにもあらず候へども、書くにも書けず況して北行列車發車期に迫はれ居る事とて惜しき筆を擱き申候。何れ萬樓後便にて。(九月一日午前一時半)

平壤

▲金融組合理事更迭 平安南道了波地方金融組合理事外水峯次郎氏は今回依願免職となり平安南道理財課勤務の富永四方司氏同組合理事を命せられたり▲臨時淸潔法施行 平安南道安州郡安州憲兵分隊管內に於ては七月二十六日より八月二十七日に至る三十日間餘に亙り臨時淸潔法を施行したるが施行內地人戶數二百七十二戶、鮮人一萬二千五百六十戶外國人二十戶井戶修理三百八十一箇所同浚渫五百二十九箇所道路修築四千五百四十二間、橋梁修築三八間下水修理四百二十間、浚渫四千五百五十三箇所なりと而して其淸潔の方法は日光消毒を主眼として施行したるが成績一般に涉り良好なり▲面長會議 平安南道大同郡廳に於ては九月八日面長會議を開催す▲貯金組合 平壤に於ける民風改善記念貯蓄組合及びこれに類する營利を目的とせざる組合數現在は內鮮人を通じて三百組組合員一千一百二十三名貯蓄額一萬三千一百六十七圓累計現在金額七萬三千二十一圓なるが本年八月末日迄の調査に依れば貯金額減少し成績良好ならずと

仁川

▲上野書記寄附 仁川府書記より始興郡主任書記に榮轉せし上野小一氏は今回在仁記念として小學校基本金として金若干圓を寄附せり▲仁川驛營業成績 客月中の仁川驛營業成績を聞くに乘車人員三千七百十六人降車人員三千四百三十一人發送荷物斤量四萬一千九百二十斤到著同二萬七千二百七十八斤客車收入六千百六十六圓發送貨物噸數六千六百二十噸到著同上二千七百三十二噸貨車收入二萬三千百三十六圓客貨收入合計二萬九千三百零一圓なり▲仁川在庫穀物數量 九月一日現在の仁川港各倉庫穀物在庫數量は十三萬七千四百十二叺白米三千叺六十四叺大豆八十叺小豆百六十五叺小麥七千百一叺粳三千八百十四俵籾米六百五十叺胡麻四百七十二叺糯米八百八十四叺外に日本俵糯米百六十三俵なり

元山

▲元山築港近況 元山築港工事狀況に就き聞くに最近に於て埋立地諸工事は著々進行しつゝあるが斜路工事用木材の不著にて自ら該工事は遲延を免がれざるもの、如く目下木材遲著に對し交涉中なるを以て遠からず之れが解決を見ると共に豫定の進捗を見るに至るべし浚渫工事は二臺の浚渫船にて之れに從事せしめ大型浚渫船は岸壁地點を小型浚渫船は斜路附近に於て何れも浚渫を續行し居れり▲咸南各郡乾繭成績 咸南各郡に於ける共同殺繭乾繭器使用成績を見るに使用乾繭器數は新興郡七十一、利原郡三十三、北靑郡五十、洪原郡二十九、安邊郡二十九、德源郡三十にして之れに對する乾繭數量は新興郡十石一斗利原郡六石一斗一升、北靑郡二十石洪原郡三石四斗、安邊郡十三石五斗德源郡十一石五斗、に達せり▲秋季淸潔法 元山府內秋季淸潔法は來る九月五日より同九日迄(雨天順延)に於て五區域に分ち施行さるゝ事に決したるが同府內各所大下水の浚渫は九月七日より同十日までに行はるべしと▲陸軍豫防注射 元山陸軍各部隊に於ては過般來赤痢豫防注射施行中のところ去る二十九日を以て全部終了を告ぐるに至れり▲學校組合會 既報の如く去る三十日開催の豫定なりし元山學校組合評議員會は當日出席議員定數に充たざる爲め流會となりたるを以て更に九月二日午前九時より開會の筈▲鮮銀支店長出京 朝鮮銀行元山支店長武川盛次氏は三十日出京せり

人事消息

▲山縣辰吉氏(政務總監令息) 夫人同伴二日朝安東へ
▲藤原文一氏(水産課技師) 五日東京發神戶下關門司三市へ出張
▲岡田直三郎氏(釜山中學校長) 一日出府を命ぜられ二日入京朝鮮ホテルへ
▲岡田虎輔氏(專賣課技師) 內地へ出張中の處一日歸任
▲淸水警部長(高等法院) 西鮮出張中の處卅一日歸任
▲齋藤氏(平壤府醫士) 入京中の處二日朝退京

蒹二浦に住みて　活堂

虫の夜の女郎花剪る二人なり
露開きに尋ぬれば大鳴居たり
塀崩れ豆のひよろ伸ふ壺の虫
月の虫屋根のふくべの落ちるな

北鮮への首途に　烏堂

出で立つ朝鷄頭の日光り
マラリヤ落ち挨拶を鷄頭に來
フケを櫛はく鷄頭の縁

愛子を失へる雄子郎に　浮碧樓

座右としゝ百合の香の立ち去ぬ

●ワンワンの學校參觀記(三)

犬の可愛い所＝犬道樂で無ければ＝お買手次第で＝朝鮮に名犬が尠い＝値の高い狆＝ブルドック＝訓練は月六日位＝一疋前になる迄

前にもお話した通り、私の宅が揃ひも揃つて犬好きと來て居るものですから犬の方でも非常に慣れ親しんで何箇月かの訓練期間を終へて卒業して飼主に返される時でも道に

◇惜別の情に 耐ねぬもの、如く悄然として後を振返つて行くのもあります中には何度連れて行つても飼主よりも此學校の方が戀しいと思へば返つて來るのもある位ゐに自分を愛して呉れる者を忘れないのが犬の可愛い所です從つて昔から犬が飼主の危難を救つたり或は主人の死に殉したりなどした美談のあるのも實際飼つて見れば尤だと思はれるのです犬を飼ふと云ふ事は只單に夜盜の防禦としての番犬と狩獵本位の即ち獵犬と家庭の娛樂用として飼ふのと又は犬を飼つて子生ませて夫を商賣にして居るのと種々な種別があるが何れにせよ犬道樂と云つて

◇犬に趣味を 持つた人でなければ出來ない仕來です犬の價格も却々一定しないのですが高のになると其程度が知れないのでしてツマリお買手次第で相場が定まると云つたやうなものが多いやうです併し朝鮮は之を內地に較べると獵犬の秀逸なものは少ないのです其理由とする所は內地は狩獵が以前から發達して居た爲に一羽の鳥を獲るにも却々容易でないからして自然犬の活動を要することになり狩獵には金を惜みまするし名犬を手に入れやうとすることになるのですが朝鮮は全く之れと反對にすきやき鍋を七輪に掛けて置いてからでも鳥の一羽や二羽は獲れる位の所ですから犬の活動する領分が少なく從つてことになりますのです、それでも

◇名犬が少い とかう云ふことになりますのです、それでも和田八千穗さんなどの犬は先づ朝鮮第一と申すも差支ない方で人樣の飼犬を評價しては失禮ですが先づ四疋居る內で二三疋位の犬も居ります其他獵犬として一寸思出した犬を數へて見ても狩獵家の若林さん朝鮮銀行の森さん南大門小學校の森さん學務局の弓削さん本町の塚谷さん李王職の末松さん總督府の人見さん池田病院の院長さんなどの方々は何れも相當な名犬を持つて居られます家庭の娛樂用として飼はれるのは何んと云つても狆が多く旭町の大石さん本町の近藤藥店の如きは

◇狆によつて 廣く知られて居ます狆は西洋婦人などにも却々可愛がられ高いのになれば五百圓もすると云ふことですが京城にもなかく立派なのがあると伺つて居ます番犬では總督官邸の蒙古犬を始め日本基督教會の井口さん又は支那領事館の前にある鉤屋のブルドッグなどは有名なものです道にワンワンの學校の校長丈に犬の分布狀態に就ても殆んど戶口調査的にお詳しいと御念入りに感心して居ると話しは何處迄も細かなとして盡きぬので、ら邊で失禮することにした因にワンの學校では校內丈での訓練なれば月六日位

◆獵期にでも 入つての訓練となれば野外教練其他汽車賃等を要するので十圓內外を要するとのことだが犬一疋の月謝としては却々大金であるがその代り一疋前の獵犬として立派なものになると云ふので狩獵家仲間では非常な好評である(終)

●檢微鏡と首ッ引きの檢疫醫

忙しい警察官 料理屋では刺身は一切出さぬ

これでも虎列拉は逃げ出さぬかと云はぬばかりに

◆第一釜山警察署長橋本警視を始めとして相場主任警部、黑川警部、司法部の大津警部に至る迄署中休暇の一日でも安々と休む事が出來ず朝は小暗い頃から夜更けるまで數軍の猛進追擊をも物ともせず檢疫事務に忙殺されて居る、況んや其配下の部長や巡査連中は當番非番の差別がなく殆んど晝夜兼行でこれでも虎列拉は逃げ出さぬかと言はぬ許りに努力して居る其れでも手不足を生じ各地より應援巡査も來てゐる

◆吉村港務官は近頃港務部より神仙臺の檢疫所に移轉して詰め切りの姿である警察醫の近石港務醫の山田雨氏及び今度新義州から應援に來た齋藤檢疫醫は毎日未明より夜は十二時過ぎに至る迄糞便檢查の爲め顯微鏡と首ッ引きの有樣其他の助手は培養室や準備室で種々の黴菌を培養試驗を行つてゐると云ふ始末で檢疫所內は小使給仕に至る迄眼の廻る許の大多忙である

◆釜山の棧橋から神仙臺へ旅客を運ぶのに警察のランチでは到底間に合はぬ處から牧の島の渡船一隻を借り切つて居るが朝は四時頃より夜は十二時頃迄臨時と定時の往來に一方ならぬ多忙を極めてゐる、

◆汽船は充分手が届いてゐるが帆船と漁船の檢閲が八月廿四五日頃から始まり南口には南濱の海岸に北口は漁の尖先に何れも新調の警察旗を掲げて船內に詰切りの巡査が晝夜兼行で注意の眼を配つて居る

◆此頃釜山の料理屋では刺身は一切出さないのみならず客に出す食物に就ては警察から嚴々しい注意を加へられておる毎年釜山は秋には釣漁が流行するが本年はこの三四日前から釣舟は一隻も見當らぬ(釜山特派員)

●豫防注射をすれば虎列拉に冒されても極めて輕症で濟む

虎列拉豫防に就ては前回に於て大體に之れを述べたが猶一寸付け加へて置きたい事は虎列拉菌が乾燥に對して甚だ弱い事である天然痘の病菌や實布的利亞の病菌などは乾燥して風塵と共に飛んでも猶生きて居るが

▼虎列刺の病菌 は決してそんな事はない水中では極めてよく繁殖し長時日の間生存するが少しでも乾燥すると病菌は非常に弱くなつて遂に死滅するから病菌の附著したものを日光に曝すと充分に消毒する事が能きる萬一知らずに患者に接近した場合などは充分豫使の檢菌を行つて貰ふ事は元より患家の器、家具等に觸れた個所は充分に消毒しなければならぬが豫防注射と云ふ事もまた充分に効果のあるか無いかと云ふ事は

▼學者間にても 疑問に屬して居るからこれを注射すれば必ず免疫するとは限つて居らぬがしかし例令へ病に冒されても極めて輕症であると云ふ事だけは醫學界で一般に認めて居るから愈々猖獗を極めると云ふ場合には注射なりも施さなければなるまいと思ふ(瀬川技師談)

●初霜 咸南に 昨年より早し

二日午前仁川觀測所よりの報告に依れば咸鏡南道甲山郡に八月二十日、同道長津郡に同二十一日何れも降霜ありたるが右兩郡とも今年の初霜は昨年のそれに比すれば甲山は十四日長津は十三日早かりき(仁川電話)

●十七名解放

隔離せる十七名檢鏡の結果無菌者十一名一日解放し殘部の六名も二日解放せり(大田特電)

●大佐の胸部を銃劍で突く

大津步兵第九聯隊長船橋大佐は演習中兵士の銃劍が馬上の大佐の左胸部に當り長さ一寸五分の突創を負へり(大阪特電)

●李子爵 法廷に立つ

仁川居住の李之貞並に其長男醫師李圭三の母子は豫て夫或は實父に當る京城蛤洞子爵李夏榮氏を相手取り夫婦離婚家督相續等の請求訴訟を京城地方法院に提起し既に前後數回に亙り原被兩者の訴訟代理人辯護士間に於て辯論あり是が審理中の所二日午前九時頃より民事第一部法廷に於て李子爵の出廷あり裁判長として岩本法院長審問をなしたるが近來注目すべき事件として朝鮮人傍聽者多數ありたり

●憲兵伍長 檢事正を銃殺す

加害者直に自殺を圖る

海州地方法院檢事正官舍の椿事

二日午前七時頃海州地方法院檢事正氏野德太郎氏は檢事正官舍に於て載寧分隊靑石頭派遣所長憲兵伍長奧山商治(二九)の爲め拳銃を以て射殺せられ加害者奧山も其場に於て拳銃を以て咽喉部を二發射て自殺を圖りたるも死に至らざりき此兇行の原因に就ては樣々の風說傳へられ居るも未だ明かならず加害者奧山は過日載寧分隊靑石頭派遣所より海州地方法院に向け犯人を護送し來り二日歸所の筈なりし處前記の如く二日早朝氏野檢事正を其の官舍に訪問し應接室に案內せられ聽て檢事正の入り來るや加害者は平素攜帶の拳銃を以て檢事正の胸部を射擊し檢事正が重傷を負ひ倒るゝを見て加害者は直ちにピストルを取直し我と我が喉を二發迄射て重傷を負ひ打倒れたる騷ぎに海州憲兵隊、檢事局等より出張し兇行原因に就て取調べ中なり(海州特電)

●六十一名の牛肉中毒

八月廿二日黄海道遂安郡大千面樂松洞住民六十一名は牛肉を食したるに悉くその毒に當り死者一名重患者三名其他は公醫の應急手當に依り經過頗る良好なり原因は目下取調中

●天勝の乘込み

二日夜南大門に到著

松旭齋天勝一行四十名は鎭南浦興行を終り愈々二日午後七時三十分南大門驛著の列車にて乘込み來るべく三日午後より有樂館に於いて華々しく開演の運びに至るべく前景氣頗る盛んなり

●興行師共謀して活動寫眞フヰルムを騙る

仁川宮町二丁目井上方居大阪市北區舊天滿橋町一丁目生れの興行師國本眞太郎(三二)大阪南區御倉跡町生れ當時滿洲長春居住の活動寫眞師鎌田爲次郎(四五)大阪南河內郡志紀村生れ當時京城本町三丁目大和館止宿の興行師石田幾太郎(三九)の三名は共謀し八月十四日仁川宮町二丁目澤熊一郎所有の御大典活動寫眞フヰルム八卷(六百圓)を熊一郎が仁川新町野口某に預けあるを探知して之れを騙取したること發覺し三名は京城本町署に檢擧されたり

●二百十日の陸軍飛行

一日は二百十日の大厄日なるも東京に於ては朝來天氣清朗にして風なく所澤陸軍飛行場より來れる飛行機數臺は市の上空を飛翔せり各地方とも一般に無事靜穩なるが如し(東京電報)

●陸軍省內の火災

重要書類全部を燒失す

一日午前一時陸軍省情報局內より發火し重要書類全部燒失し同室及び各課とも燒拂ひて漸く鎭火するを得たり

●解放された高麗丸

神戶に入渠して大消毒を行ふ

虎列拉病の乘客を出して停船されし高麗丸一日午後一時半解放され同夜午後八時空船にて神戶に向ひ出港したり同船は同地にて入渠して大消毒を行ふべし(釜山特電)

●施療は仁川病院で

▽九月一日より取扱ふ

仁川警察署にて從來保健組合をして內日鮮人貧困病者の施療を爲し來りし處今回仁川府廳の經營に移さ……便宜上仁川府廳及び仁川警察署に施療券の下附を願ひ出べしと(仁川)

●漂流中救ける

全南麗水を根據となし專ら打瀨網漁業に從事する廣島縣生れ藤田久治加藤重造二村松郎の三名は二十三日午前四時麗水を發し南海郡沖合に出漁中突然颶風に遭遇し船體轉覆して海中に墜入りたるが何れも水泳に熟達せることて直に船底に取付き波の間に〳〵漂流せる處を山神組汽船小富士丸に救助されたり

讀者文藝(一等には五十錢の御禮券を呈す)

△狂詠『蟬』

▲日盛りの暑さに堪へで京風がつくつくほしいと蟬が鳴くなり　京城　奇の面響

▲嘯き拜す猜悲より外にない蟬の小便たれて死ぬばかりなり　大田　室谷兵一

▲蟬の際だとばかりお三どん晝寢醒むれば豆こげにける　新義州　田匠守

▲背戸で嘯く蟬より外に泣く人もなき數に入る熊公あはれ　元山　道野正

回一等なし

課題及び規定は欄外にあり

簾のうち

◆組太夫 といふ淨瑠璃の師匠が京城に來た、この組太夫といふ名に就いて調べて見るとこの人は東京の若狹太夫と名乘つてゐたが朝鮮へ來る時竹本組太夫と改めたので大阪の古老連は呂太夫の門人でも何んでもない、呂太夫の前名組太夫を襲名したのでは無い、全く呂太夫とは無關係である尤も今の呂太夫が組太夫を名乘つてゐた頃永く東京に居住し朝太夫一座に出勤してゐた事が有つたので組太夫の名は關東にも好く賣れてゐる、そこで若狹太夫が素人でこそあれ語り口は實に巧者で通れ名人の資格を備へてゐる、その組太夫が大阪へ歸つて呂太夫を襲名したので若狹太夫の襲名した組太夫とは別物である、してみれば組太夫といふ名の太夫は大阪にも東京にもある譯だ◆京風が立つた故か京城のデン界も大分景氣付いて來た、近々組太夫の歡迎會といふ名で各部屋の聯合會があるさうだが久し振りの發比べだから定めて聽ふ事であらう、京城で聯合會を演る時分には各地方から出馬を勸誘するのも一策である、◆京城釜山のやうに師匠の多い所は研藝聯合會とも云ふべき團體を作り時々師匠の聯合會を催して欲しい、師匠の發比べは一層興味がある。

●贓品を買ひ取る

石川縣石川郡上金石町生れ元山仲町三丁目居住古物商米澤宗松(四七)は咸南德源郡顯仰中清洞生れの李永祚(三二)といふ前科付の曲者を手先きに使ひ永祚が昨年十二月以降前後十數回に亘り元山市中にて竊取せし品物を悉く買取りたる爲め遂に檢擧せられ元山支廳にて永祚は懲役七年宗松は同六箇月及び罰金三十圓の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴せり

●小火

三十一日午後五時五十分頃京城吉野町一丁目林在敬方より發火せしも附近の者消止む原因幼兒の弄火にして室內を燒却したるのみ

◎麗年謠會開催 大平洋派の靑年洋謠家生駒麗年氏は過般來より開催中なりし半折謠會の會員豫定數に達したるを以て三日正午より南山本願寺に同會員を招待し各作謠を展覽の上席上に於いて頒布すべしと

●虎列拉一千餘名

各府縣下益々猖獗を極む

內務省にては各府縣に對し防疫上の訓令を發し極力虎疫の豫防に努めつゝあるも各府縣下共益々蔓延猖獗を極め殆んど停止する所を知らざるの狀況に在りて一日迄の報告を綜合すれば發生患者一千餘名に達したり各地の狀況次の如し(東京電報)

▲愛媛縣 伊豫郡松前村に男一名越智郡宮浦村和船內に死者一名疑似患者一名發生せり同越智郡弓削村及び溫泉郡興居島村に各男一名コレラ有菌者發見せり

▲長崎縣 南松浦郡魚の目村對馬島□村に各一名疑似コレラ發生せり

▲廣島縣 福山市御調郡田熊村土生村に各一名疑似コレラ發生せり

▲橫須賀市 逸見三進町一、三浦郡田浦町二疑似コレラ發見及び逸見一田浦町一扇菌者發見せり

▲德島市 助任町一、三好郡池田町疑似コレラ發生す

▲奈良市 生駒郡二志岐郡一疑似コレラ發生內奈良市一入眞正と決定

▲熊本縣 天草郡に一名飽託郡に一名の眞正コレラ患者發生す

▲愛媛縣 溫泉三つ濱町及び西宇和郡矢の崎村に各男一眞正コレラ發生せり

▲和歌山縣 海草郡梅本町疑似コレラ一發生せり

●屍體解剖 仁川寺町分院に入院中去る二十八日死亡せる行路病死者山口縣都濃郡……したるも病勢漸次募るより行路病者として仁川分院に收容されたるものな……本人が……

●牛泥棒 住所不定の金鐵夫金……安南道事里……文根……足にて二頭の牛を牽き慶川郡嘉南面古洞村子元方に至り恰も居合せたる金炳吉の二人……

●郡守瀆職公判 平南……

課題及募集規程

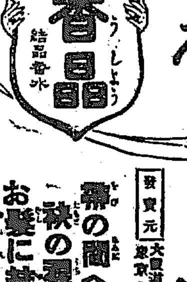
天氣 曇り一時晴

京城日報連載小說「女鳩鬪」 券▲

印刷
諸印刷品御調製の節は一應弊堂に御照會あれ
大津大榮堂商會
東京京橋中橋電車停留場前
電話京橋二五四〇四番
振替東京三二六〇三番

電話開通 二九五九番
金銀眼鏡各種製造販賣
各眼病院眼科醫指定眼鏡調製所
眼鏡專門 京城黃金町二丁目
大學堂眼鏡舖

製作工場 京城黃金町三丁目 振替京城一二二九番
尚一層續々御用命の程偏に願上候

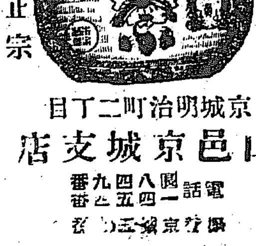
活用せられたる


髮の間へ!! 袂の裡へ!! お髮に結び込み 心神さわやか!!
定價 三個入 金三十五錢 一個入 金十五錢
各地藥店小間物化粧品店にあり
發賣元 大阪道修町 東京本町 高澤梅腦本舖
代理店 京城南大門通二丁目 新井藥房

◎ミノヤ◎

▼表通りは目下道路改正工事中に付裏通りより御來店の程奉願上候
グロリヤ、クリスト ペロース、グリンタイヤ特約店
京城南大門通二丁目
ミノヤ自轉車店 電話二三七三番
▼月賦販賣及月貸自轉車は御一報次第店員參上仕り特に御相談申上候

內科 小兒科
芙蓉醫院
醫學士 森定吉
京城本町二丁目(瓦斯會社向側)
電話二六三三番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗

サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 四八四 九五二番

◎秋は愉快な 乘馬趣味

△乘馬は唯一の長壽法

秋風都門に入つて運動界の盛んになる時期となつた、別けて秋の郊外を騎馬に遊ぶも興多きことである京城にも初音町附近に乘馬倶樂部が出來て鈴木土地調査局長、村田鐵務課長などの馬好きが尠なくない、乘馬の趣味が獨り道樂として面白いのみでなく先第一『筋骨を强壯にし精神を爽快ならしむる點に於て凡ての運動に優つて居る、次ぎに乘馬は姿勢を正しくするから身體各部の筋骨が平等に發達する、其れは騎手が墜落を恐るゝ爲馬上に在つては絶えず緊張してゐるので自然筋肉が骨格に附着し常に之を牽引するから骨格は愈抵抗力を增し隨つて次第に肥大する樣になる、又騎馬の反動は内臟諸器を衝動して筋の發生を促し、更に鬱血を消散せしむる効がある、乃で心筋が强壯となれば血行を良くし、又筋肉が動作すれば自づと熱を起し、之が爲に體の表面に於ける蒸散を催起し、且つ汗腺の分泌を昂進せしむるから汗の分泌盛なるに從ひ腎臟の動作は輕減休息する、從つてこれが爲めに腎臟病を豫防し得るばかりでなく之と共に腎臟の萎縮する、所謂老病をも防ぐことが出來る、次に筋肉の動作が亢進して體内の燃燒作用が旺になれば、血中に存留する有毒分を悉く分解し、夫の糖尿病や尿毒症の如き病氣は自然に癒治される又乘馬運動は心臟の動作と共に呼吸作用をも昂進し、肺に於る血液瓦斯の交換が盛になり從つて肺病の豫防にもなる譯である、其他神經衰弱や胃腸病の如きは忽ち根治する、即ち乘馬運動は凡ての病根を絶滅せしむると同時に體力元氣を旺盛ならしめ體に長壽を保つ一良法と謂つても可い」

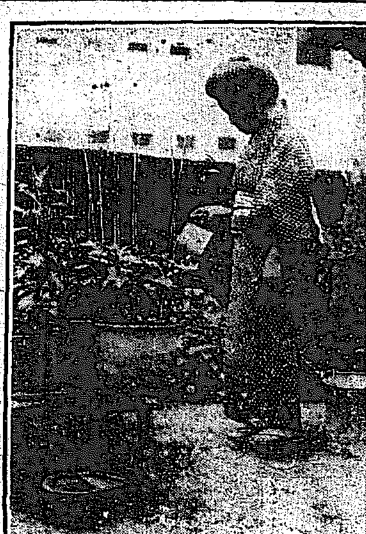
◎手輕な消毒法

傳染病流行時に心得置くべき事

虎列剌や赤痢などの傳染病流行時に當つて家庭で行はれる手輕な消毒法も一通りは心得て置く必要があります。先づ消毒法の主なるものをあげ見ますと、燒却法、煮沸消毒、藥物消毒、蒸氣消毒、日光消毒などであります。燒却法とは患者の爲に用ひた器具や襤褸、疊の如き病毒の附着してゐさうなものを、石油を掛けて燒き捨てる事です。尤も衣服、敷布、硝子器具、金屬類の樣なものは、少量の炭酸曹達を混じた煮沸湯の中に入れて三十分位煮沸消毒を行へば充分殺菌の目的が達せられます。又金屬や硝子の消毒は五百倍位の昇汞水を掛けても宜しい。蒸氣消毒も煮沸と同じく熱を以て殺菌するのですがこれは蒸汽釜の設備を以つて消毒します。それから藥物消毒は普通石炭酸を用ひますが、これは便所や緣の下、床下或は柱、板の間等にも宜敷い樣であります。そして洗面所の如き處も時々石炭酸を撒いて痰壺の樣な物もこれで消毒します。又便所、埃捨場の樣な不潔な場所には石灰乳も宜敷いが、これを製するには少量の水に最初少しの石灰を入れて、石灰が水分を呼吸して沸騰する時に再び石灰を混じて攪拌して密閉して置くのです。そして是等の消毒法の行はれない貴重な絹布や書畫其外書籍類などは天氣のよい日を見計つて直接に强い日光に長時間當てますと充分黴菌を殺すことが出來るのであります

◉素人は鉢を可愛がり過ぎる

『盆栽が自分の子供より可愛い』



◇本町二丁目有樂館のとなりに憲兵特務曹長松尾氏を訪ねる、主人はなかく の盆栽好きのやうで裏の庭には杜松、白檜、眞柏などの鉢植があつた、◇其中眼に附いた物と見ねたのは大きな一つの白檜であつたがこれは松尾氏が京元線の抱川邑に居た頃採集したのだ相な◇その曲りくねつた古木の枝振りを見て居ると奧さんはニコ〳〵しながら『主人は盆栽が大好きで、うちの子供より可愛いいんでございますよ』と申される へ猶ほま た庭の一隅には二十に餘る菊の鉢が並んで居て何れも立派に育つて居る◇其度へ主人の仰せらるゝやう『私は菊は素人です、それに種類も友人から貰ひ集めたもので珍種は一つもありません◇なに菊の手入れのことですか、イヤ私は全くのヘボ花造りで到底お話にもなりませんが、素人は餘り可愛がり過ぎて反つて成績が擧らぬといふことです◇それで私もあまり肥料などをやりませぬが鉢植の土も砂が多いのが好いと云ひ又ばまた土と砂と半々なのが好いとも云ひます◇兎に角私はヘボなので到底お話になりません、ハツハツヘー』

神社とお寺と教會

○開教院（本町三）　三日午前九時より日曜學校あり

○曹洞宗別院（若草町）　三日午前九時より日曜說教あり

○妙心寺（長沙洞）　三日午前九時より無人燈會あり

○メソヂスト教會（南大門通）　三日午後八時より監理教會にて藤岡牧師（弟子の派遣）の說教あり 猶ほ午後八時より旭町二丁目牧師館にて同師の（傳道の好機）に就いて說教あり

○西本願寺（若草町）　三日午前九時より日曜學校あり末廣、弘中兩氏の講話あり 尚ほ午後八時より日曜講演あり講師は松原、末岡兩師

○龍山西本願寺（元町二）　二日午後八時より佛教講演あり 末岡、弘中兩氏の講話あり

○救世軍　二日の午後八時より本町百三十銀行支店前にて石島大尉の『荒める心』あり 午後八時廿分より永樂町二丁目に於て 同大尉の『[illegible]信』あり

○龍山日本基督教會（漢江通）　三日午前八時半より日曜學校あり同十時より伊藤牧師の『腐物の活用』午後八時より 同牧師の『[illegible]情の流』あり

○聖公會（南米倉町）　三日午前九時三十分聖餐式、朝禱、堅振式、說教 及び堅振式あり 司式者は主教マーク、チヒアトロリップ師、說教者は聖公會神學院校長今井壽道師、午後八時晩禱後會館に於て講演會あり『悲衡の神觀』今井壽道師

○日本基督教會（長谷川町）　三日午前九時より日曜學校、同十時より井口牧師の說教『高い所の集會』あり午後八時より同牧師の『信仰と道德』あり

○國柱會京城局（初音町）　本年一月より全鮮に亘つて『天業無窮』の旗を傳道を爲し來りしところ來る五日より新たに花本部を開設して差當り京城在住者に限り何人を問はず申込順に『日蓮聖人と教義』『日蓮聖人と耶蘇』『日蓮聖人と親鸞』『世界統一の天業』『國柱新聞』其他數十種の書籍の無料貸覽を爲す由

◎朝顏展覽會は三日迄　京城に於ける朝顏愛好者の發起に係る展覽會は既報の如く明治町中村組構内にて三十一日開催したるに出花妙花引に多く見物來る三日日曜日迄三日間開催新咲の出品多く盛況なるが三日夜は京龍盆栽家の出品物を競賣する筈なりと

商況

東京株式特電

三十日　前場寄付　大引 [illegible]

債券現物特電（前日との比較）

[illegible]

東京公債直取引（前日との比較）

[illegible]

深川正米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

二日前場　[illegible]

下關期米特電

二日前場　[illegible]

雜報

[illegible]

◉關東製粉市場

[illegible]

◉綿糸は强硬 一圓方の昂騰

[illegible]

◉澱粉產地强硬

[illegible]

◉藥價は順調

[illegible]

◉セメント氣高し 五十錢方小樽の三圓

[illegible]

◉支那棉氣强し

上海市要は大に活況

[illegible]

◉牛皮の昨今

漸く警戒を解き

[illegible]

◉綿布更に上向く

更に一沸騰

[illegible]

◉洋鐵高模樣 幾分の値上

[illegible]

京城正米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

[illegible]

▲二日前場 大阪天候晴天 十三錢安の入

[illegible]

三十錢五節三十二錢と高移 大阪二節 一錢と更に暴騰 七節四十

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

市場零聞

▲依然伸び惱む

▲大阪の强硬に比し

▲前場の手振

▲大に賣る

▲大商内

▲能く賣る

▲能く買ふ

▲目先商内

▲今續て買ふ

▲第一回豫想

◉田中金兵衛

第一回實收豫想額 五千四百十餘萬石

[illegible]

暴騰の時 大阪の跡 暴騰裏面の消息

▲在來增加す

▲玄米の增加

▲日先期米觀

▲大豐作の豫想

▲新米を以て代用 十一月限に正米蒐集

▲稍安心

▲見越已に無難

▲餘地無く平作以下

仁川米豆取引所

二日の十一月限

	寄付	止め値	高値	安値	出來高
前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

北濱だより

▲宇治川水電株

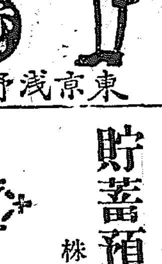
[illegible]

〈演藝案内〉

大正館　櫻井町 電話八七三 日本活動株式會社朝鮮代理店 [illegible]

黃金館　大好評 大入 毎夜午後七時開演 大日本大活劇 第八名金 神崎與五郎 新派 海の怪 [illegible]

御成座　御成町 電話一一九一 [illegible]



コレガ有名ナ あかだま 赤玉 東京浅野製

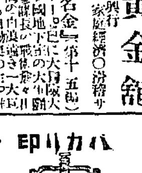
くだりはらによし しぶりはらによし

コレラ恐るゝに足らず胃腸さへ健全ならば 全國各地藥店に販賣す

便利な問合 （東京市内）何んな事柄でも早く問合せて御返事致します ▲料金五十錢也 ▲回答五日以内 市内金二諸五十錢特別詳細金四圓也 ◉他に秘密調査部あり婚姻及身元は 芝濱松町二ノ八 電話芝四九九三 東京探報社

增田本店 [illegible]

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 振替貯金口座京城八一〇番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八一四番 二諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候



ハカリ印

油斷大敵！

かぜは萬病の基で決して油斷は出來ないのである、之を打捨て置けば往々チブスや肺炎に變症して後悔する事となる故にかぜは勿論熱病に罹られたる諸君は速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし。

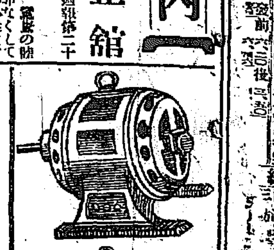
大阪田口のヘブリン丸を ハカリ印のヘブリン丸と改稱

内科 小兒科　京城日出小學校前　入院隨意　多々見醫院　電話九四〇番

優等清酒

京城永樂町二丁目　發賣元　本莊酒店　電話京城六五四番 振替京城二六〇番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　酒井婦人病院　入院隨意　電話二六〇一〇八番



舶來 和製 電氣モーター類　新品及中古品在庫豐富　◎御照會次第詳細御報申上候　大阪市西區北境川町一四四の五十　吉岡常吉方　電氣機械商　品川護助　電話西三三三番

宮本武藏

第百四十七回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

金神組の町奴も白柄組の勢ひに懲いて四方八方へ散亂いたしましたから宮本武藏 武『御助勢下され千萬忝けなう存じます』と一禮を述べると、兵先に進んだ水野十郎左衛門が 十『御名前は豫々承はる細川家の宮本氏、拙者は旗本水野十郎左衛門、之れは近藤登之助、兼松又四郎、池田勘兵衛……』と一々紹介して互ひに挨拶了つて 十『お懇意の印しに一獻汲交したうござるから其處までお出を願ひたい』といふので宮本も外ならぬ旗本一同の言葉に 武『其れでは御陪伴を』と茲で近所の會席へ上つて一盞汲交し、百年の知己の如く相成つた、其時に 十『さて宮本氏、拙者の祖父に當る水野日向守勝成、豫て浪人組及び町奴などゝ稱する輩が江戸市中を往來して亂暴を働く、町人の難澁一方ならんに依つて之を懲らしむるため白柄組一名神祇組といふものを拵らへ、強きを挫き弱きを助けるといふ主旨で、亂暴を働らく奴輩を見る時は容赦なく取つて押へて酷い目に逢せる、之れを今日の商賣同樣に致して居ります 武『ハ、ア其れは結構…… 十『貴殿も去ぬる寛永十年豊前小倉の海上、巌島に於て九州の鬼神と言はれたる佐々木岸柳を討取り、天下に俠名を輝かした御仁、什麽此後は我々と志を同じくして弱きを助け強きを挫き、徳川武士の意氣地を顯はして戴きたいが如何で 武『其れは拙者も望みとする所。陪臣の拙者で宜しければ什麽か黨中へ加へて戴きたい 十『其れは何よりの喜びでござる、白柄組に宮本氏を加へるは鬼に鐵棒と申すものだ、爾う決つた以上は互ひに兄弟同樣、お互に腹藏なく心を打明かして萬事相談いたしたいものでござる 武『面白い御意見其れに就いて早速ではござるが、各々方にお頼みしたい事がござる 十『ハア何で 武『まづ拙者が一通り申すことをお聞き下さい』と改めて武藏が話し出したのは外ではない、雲井の身上藝州廣島の城中にて繩張論より岡崎穣部横死の顛末、娘雪倂左門の兄弟が敵長東傳八郎を訪ねて討たんがため國許を出立なし途中駿州薩陀峠に於て不圖仇長東傳八に出會ひ、左門は生死知れずお雪は谷に落ちて氣絶したのを駒飛の佐吉といふ者に助けられて其れから江戸吉原の三浦屋四郎左衛門の許へ住込み、雲井と名乘つて遊女となり、川竹の憂伏しげき勤めをして居る事から神田鎌倉河岸に劍術の道場を出して居る一橋如見齋といふ者が執心して毎日のやうに揚屋へ來る中に一日長東傳八郎が同道して來て思はぬ廻り逢ひをした事、其前に宮本が吉原で稻妻組と喧嘩をして尾張屋で雲井に近付きになり、仇討の助勢を頼まれた事から前後の事情殘りなく物語つて 武『爾ういふ譯で其左門を見付け次第敵討をさせたいといふ拙者の所存、併し長東傳八郎を隱匿ふ一橋如見齋といふものも仲々の技倆、且何百人といふ浪人組が之を助けて居るといふ事、拙者とても敢て浪人共を恐るゝ譯ではござらんが對手は大勢、味方は纎弱き姉弟に拙者一人萬一拙者が討たれるやうな事があると飛込んで往つて敵傳八を討つといふ事は出來ぬ、強きを挫き弱きを助ける義俠の各々、什麽か孝子姉弟に一臂の御助力を願ひたい』と誠心からの話、承はつた水野が 十『イヤ初めてお聞申したが憎くい奴は長東傳八、倚又其傳八を隱匿ふ所の一橋如見齋、爾ういふお話を伺つては彌々捌辨相成らん、お頼みなくとも我々より望んで御助太刀申す、其一橋如見といふ奴は元黑田の家來で相當の技倆だそうだが性來妄奸邪智の曲者今迄我々の方でも目を付けて居たが何でも稻妻組の平九郎といふ奴が弟子で三百人から乾兒があるといふ、恁いふ奴を助けて置いては諸人の害に相成る、我々一同宮本氏に力を合せ、白柄組の勢ひを以つて一橋一味の奴輩を取つて押へ、孝子孝女に敵討本懐を遂げさせねば武士の本分が相立たぬ、何と各々さうではないか 藤『いふにや及ばぬ、我々一同腕を奮つて御助太刀いたす』と白柄組一同武藏の義心に感じ、茲に助勢する覺悟、武藏も大に喜んで其日は別れましたが之より白柄組の面々と往來して左門の行方を尋ねて居ります。

▲新古漢籍 ●古本買受 雜誌●圖書 ▲月刊雜誌卸賣捌 ▲京城本町一 松井松榮堂書店 ▲電一三七八▼

明治町フランス 右トナリ 易敎會 岡村介石

九月四日九星
舊八月七日甲辰
本命八白艮成友引

▲八白 自分勝手の議論盛んなる日新事は合東方は吉婚禮良 ▲九紫 成効の日轉居開業入學名弘建築求職婚禮合資業を起す等萬吉▲一白 擬物を賣に來る者有る日新事手控旅事は吉買物萬事にせらるべし▲二黑 力づくにゆかね事有に用心せらるべし▲三碧 物の危險を意味する日新事手控旅事は吉保險調印等せぬがよし▲四綠 不運の日と雖も新事始日の方吉旅事土工は勿なし▲五黃 女難小[illegible]盗用心の日新事手控旅事は吉婦人と交渉を忌む▲六白 欣快の日轉居行商入門名弘仕上求職好所取大なる金融業等萬吉▲七赤 親よき日轉居旅行入門名弘金件建築移組女子の物の指南な[illegible]萬吉

レウマチス
●不思議にきく欣ずに治る家傳藥獻あり全快幸福を望む方は二錢切手一枚封入照會あれ說明書進呈す御困りの方役場警察の證明に依り無代送藥す
東京深川門前山本町十一番地 吉田家

月やく
なきに御困りの方は郵券三錢封入左記に御照會あれ 妙藥知らす
京城黃金町三丁目 山田志づゑ

機械工學設計…通信通學規則要三錢
大阪製圖學館 大阪西區本田二番町
是か修めて有望なる工業界に出世すべし

特約店募集
今回各地に特約店を設置す。希望の方は返信郵券參錢封入申込みあれ詳細回答す。返信券添附無き照會には一切回答せず。
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會家庭藥部
長電話二五六七番 振替京城四六七番

內科 小兒科 花柳病科 眼科
山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番
呼吸器病專門 胃腸病 山田萬作
(入院隨時) 尾形周太郎

◎るいれき病にて

永年苦しむ方も手術せず淋巴腺肥大せる瘰癧も散じ消失して後外に泥化せしめる良劑あり二錢封入者に詳報す
東京芝高輪北町二三 救生堂

著しく胃を爽快にする強胃消化錠
世界商標 アナタの胃病にはマーゲン
八木田醫學博士處方 マーゲン 島田藥學博士鑑査
第二回懸賞
一等賞品 新形側 腕卷時計 二個
二等賞品 十四金ペン附 萬年筆 五本
三等賞品 新式高尙 華麗帶入 拾個
四等賞品 強胃消化新錠 マーゲン 百個
【問題】(1)マーゲンが以上各等一人一個宛(?)強胃消化錠式胃病藥と異れる理由は何か?、(2)マーゲンの登錄商標は何か?(3)本廣告を見られたる新聞名
【特色】二博士確證のマーゲンは從來の胃病藥と異り、其特色は著しく胃を爽快にし消化を佳くし胃弱を快治す
【解答】ハガキに限る 宛名大阪市東區上本町五丁目マーゲン本舖廣告部(〆切九月十五日限)【發表】大阪朝日每日兩新聞社員立會抽籤を行ひ當籤者へ直に賞品を送呈す【發表】〆切后十五日以内に於てす

ロート目藥の大懸賞
一度試した人はロート目藥でなくてはならぬ樣に評判せられ其れから其へと面白い樣に廣まつて行きますが此度又皆さんのお慰に誰でも出來る懸賞を致します

問題
(一)ロート目藥と他の目藥と異る點は何々ですか
(二)ロート目藥の紙箱に目の字が何個ありますか
(三)此廣告を見たる新聞の名

賞品
一等 貯蓄債券(五圓券) 二人 一枚宛
二等 銀側腕卷時計 五人 一個宛
三等 懷中紙入 二十人 一個宛
四等 モスリン風呂敷 五十人 一枚宛
五等 優等銀貨入 百人 一個宛

規定
ハカキにて住所と姓名を明かに附記して、〆切の十月十日迄に、大阪東區南久寶寺町二丁目山田安民藥房廣告係へ宛て、御送りになれば、當方では之を纏めて新聞紙上立會の上、嚴重に抽籤し十月廿日頃の新聞に發表します

目ニ見ヘテ ズン〳〵トキク シュマズ イタマヌ

井上博士ノ ロート目藥

ロート目藥と他の目藥と異る點
(一)シュマズ、イタマズ、目に見へて効く
(二)新案の點眼器並に消毒した布が添へてある
(三)井上博士の病院に於て多年實驗したる責任ある處方である
(四)其上に大前藥學士が鑑査したる處方製劑である
●定價(大瓶五十錢 中瓶二十錢)小瓶十錢
全國及海外要所の各藥店にあり
東京市日本橋區本銀町 大阪南久寶寺町二丁目
ロート本舖 山田安民藥房

MITSUWA QUINA-IRON WINE.

Mitsuwa Quina-Iron wine is made after a thorough scientific investigation, is absolutely free from defects found in general tonics on the market: contains the two powerful specifics; Quina and Iron in exact doses dissolved in a wine of matchless quality: is very delicious, fragrant, invigorating, and perfectly absorptive and assimilative.

As a tonic for persons of weak constitution or in diseases of anaemic or of debility, in weakened digestions, etc., it is unrivalled.

Price ¥ 1.50

滋養強壯料
香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶
芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる
◎ミツワ規那鐵葡萄酒
擔任技師 藥學士 河西嘉一 松田健一

(現品縮寫圖)

規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、強壯等の諸効驗を擧ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸收せられ、其の効價の愈增大することは既に公知の事實に屬すと雖、其の製法不當ならんか將又其の品質不良ならんか、之を服用するも啻に無効なるのみならず却て不快なる結果を齎らすこと詳を俟たざるなり、然るに本品は歐米に於ける諸種の製品並最新の學説に就て調査研究を重ね、山梨縣葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、人造着色料を用ひず、純良有効なる規那、鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に變敗する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不足、慢性の發熱並下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並病後の衰弱、一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料たると同時に、精神の困憊並身體の疲勞を回復し、元氣横溢精力增進を欲する場合に推奨すべき絶好の家庭必需品なり。

定價 一瓶金壹圓五拾錢

▼如斯人は滋養強壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲

一、一般に貧血して居る人
一、營養の不足なる人
一、顏の色蒼褪め艶の無い人
一、生來虚弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹易い人
一、手足が冷ゑて寢つかれぬやうな纎弱い人
一、身體の痩削けて居る人
一、産後や病後の衰弱を早く回復したい人

一、食事の進まぬ人
一、勉強又は勞働して疲れたる人
一、精神や筋骨の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核其の他結核性の病等にて發熱の永く續いて居る人

一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰萎や遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に襲はれて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、萎黃病など血液の病に侵されて居る人

▲賣捌―全國到る處の洋酒食料品店。藥舖。雜貨店▼

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥 肝油ドロップス
發賣元 ◎(登錄商號)
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號◎ミヤ…… 振替口座東京七一〇番
大阪市東區高麗橋貳丁目
營業部電話浪花三〇四四八・四四九・四五〇番

代理店
洋酒、食料品、煉乳、賣藥 化粧品、雜貨、直輸出入商
松下善四郎
電信略號マツセ 振替口座大阪一〇六番
電話本局一八五、長一八〇六、長八二〇番

京城 南行 北行 仁川行 [illegible]

京城日報　第三版
三日朝刊（夕刊と合せて八頁）

京城論壇

東洋人相保の必要

亞細亞モンロー主義

子爵　趙重應

今日の所謂東洋問題とは全世界の經世大家が論議して已まざる大問題にして予の如き者の輕率にも發論すべき處にあらずと雖も、事苟も他人の事にあらず、東洋は即ち吾人の棲居する故土なるが故に此に對して聊か淺見を述べて大方君子の批判を乞はんと欲する次第なり。

大抵吾等人類が此宇宙間に生れ、東西古今幾千年間經る所、千態萬狀事變窮りなき次第なるが、要するに其原因の歸する處は所謂天地間に於ける自然の原理と人事上自然なる常情に外ならざるものなり。常理を以て之を言へば新舊の進退と盛衰の消長あり、常情上より更に言へば種類の分別と利害の衝突あり。此に近き一例を擧ぐれば、常理上に於ける新舊の關係に於ては即ち一年間四季の時候に依り春夏秋冬は自ら相迭遞して新陳代謝の循環息まざる氣運を成すものなり。此の如くならずして其年功を成す能はざるものは自然の致す所のものにして殊更に造物者が舊に薄く新に厚きにあらざるべし。又虛實の關係を見れば今茲に兩個の物體あり、一方は充實し他方は虛弱にして缺陷を有するものとせば、該兩物が接觸する時は實者は勝ち虛者は敗を取るべきは識者を待たずして皆知るべし。彼の無聲無臭として無知無心なる虛空に流行する空氣に到るまで其缺陷ある處に向つて流入するは即ち其自然の勢なればなり、別に實なるものを偏護し虛なる者を偏輕するものにあらざるべし。常情上に於ける種類の關係を見るに、此世は物我を同胞とし天地を父母と爲す。故に若し人類以外の動物が人類を侵害したりと假定せば東西世界一面識も無き人と雖も、苟くも人類と名くる者は之を以て必ず椿事として恐慨せざるものなかるべし、此に反し吾が人類が他の動物を侵害せし時は無罪の常事と認定すべし。造物者より言へば至極不公平といふべし。然りと雖も此は動物に一種の類相上同類相愛の天性より出づるものなり。此れに因つて一歩を更に進めて言へば、同一の人類よりも甲の親近なる同族の人が乙の疎遠なる他族に侵害を受けたる時は甲の同族人が相護るの同情が偏重するものとす。此亦同類相愛するの人情上に部分的に自然に發生せるものなり。又利害の關係に於ては上述の諸關係よりも更に吾が人類には直接に最緊最切なる者にして之が圓滿なる解決は古より至難としたる問題なり。噫、今日世運一變して交通の便大に開け、其所謂東西洋の區分も自然空文に歸し、世界の人共公に居住するに至れり。此時に當り虛心坦懷以て吾東洋の大勢を通觀するに百餘年以來、西勢東漸の風潮を受くるの益甚しきの情狀底止する處を知らず、此を世界人中或者は西洋人の對東施措が無理過酷なりと云ふ者ありて、吾東洋人中には之を益々恐慨怨恨して其底定する處を知らざる有樣なるが、予以爲く西洋人が特に東洋人に對し惡意と野心を有して斯くの如き事を行ふにあらざるものなり。即ち以上所陳の如く、東西形勢を比較すれば東洋の歷史は最も久しくして文物制度及び其他萬事舊式にあらざるなきを以て、既に虛弱なる衰運に傾き、無數の缺陷漸く生じたるに反して西洋の所謂列强諸國の文物制度は最近發達せる新式に屬するが故に、其方興未艾の鋭氣充實して膨脹せる元氣は虛弱なる東洋に波及する事水の低くきに就くが如く、氣の空しきに入るが如し。之を更に人事上に付て觀察すれば其事件甚だ複雜にして人種の關係と利害の競爭は許多の問題を有すれども自然たる常理上之を論ずれば則ち以上陳ぶる所の天地間の單純なる一個新陳と虛實とに基くものなり。然らば則ち舊物に既に屬したる者は自然なる運命に自ら處して更に變通の活路なきもの、如く、一向自暴自棄に陷る傾きあり豈に奮發自新すべき道なしとせんや。皇天は我東洋人を眷佑し、今を距る五十年前より日本國は其幾千年傳來の舊式を一變し、開國進取の維新大業を成し、西洋人の文明新式を採用して進んで已まず、今日に至りては殆ど西洋人に遜色無き同等の地位に在るにあらざるか、噫、若し東洋に日本一國が此くの如き曠世の大業を成さゞる時は吾東洋人は皆前世界に遺存せる舊物となり今世の所謂西洋新文明圈外に擯斥を受け、自ら新なる活路を永久に失ふのみならず、併せて東西洋兩世界の對等と稱せし東洋の名義まで消滅せられたるべし。思ふて此に至る豈に竦然惕然たらざるを得んや。由是觀之、則ち東洋中の一部分たる日本一國が其文明發達したる獨力を以てさへも能く東洋全體の吾人の體面と平和を維持するを得。況や全東洋各國人が日本人の如く文明發達に進就するに於てをや。其偉大なる勢力は西洋と同等に進んで所謂東西洋の優劣と强弱の諸般問題も發生せず、東西世界の完全なる平和を確保せしむべきは智者を待たずして識るべし。惜乎、日本人以外には東洋諸人の大計と明見とが茲に出でざりしは實に後悔するも及ばざる次第なり。往事は已む。然れども唯だ自今吾人の未來に謀すべき善後の策は是なり。善後の策とは他に非ず。即ち東洋諸人が一心合力して精神を舊を化して新と爲し、虛を變じて實と成し、外は他の侮を禦ぐに在り。試に顧みるに東洋の中心たるは支那なり。支那の有志者も此に見る所ありて、開闢以來傳來の國體を一變し禍を轉じて福と爲さんとする大力量を以て共和國を組織し、人心を一新せんとせるが唯だ其時機已に晩くして外勢の浸來するもの既に深く、國家の根本たる多數人民の知識程度之に及ばざるのみならず、又袁總統が中途薨逝せしは支那の前途を案ずるに益々茫蒼を極む。之を形式上より言へば吾日本帝國と彼此國家の區別こそあれ事實上より論ずれば皆是れ我が同人同胞にして一家族の事に屬す。豈に其利害と安危を秋毫なりとも間隔を有して思量し得るや。其外交といひ、政略といひ、彼此當局者の職務に屬すべきものにして、吾等多數人民の同類として相愛する天性の至情は單純として[illegible]く東洋人たるもの、現在自身の安寧發達と將來子孫の無窮の幸福を圖り祖先以來傳へられたる土地と財産を安全に保存せんとせば、實力を養成して東西勢力の均衡を保全し平和を維持せざる可らず。即ち我日本帝國が嚮に日英同盟を締結し今又日露協約を成立せしめたる所以の精神は皆是に外ならず。東洋の平和を維持して東洋人の幸福を增進せしめ文明發達を助成せしむるに我日本帝國の其手を以てす。其の苦心知るべき也。如此眞意を多數東洋の各處人に十分曉解せしめ、衷心より一致協贊して確乎不拔の大基礎を樹立せざれば東洋人の前程を預度し難し。噫、如此非常なる大業を成就せんとすれば實に至難又難の容易ならざる事業にして且つ東洋人は同人同種の甚深なる關係を有するも五億内外の多數人民は言語風俗利害感情及び其他の事情を各々異にするもの、如く此諸雜なるを一揃し其力を合せて其心を同じくし先づ一大主旨を確定するに在り。其主旨とは他に非ず、凡そ東洋人たる者は皇天の誕生に依り東洋人たる職分を以て東洋に關する事を一致處理し利害と禍福を共濟するに在り。然らば則ち如何なる方法を以て如此大問題を實施するか、此れ唯誠心の一字を以て相孚め相感ずること、即ち其原理たるを深信して疑ひ無きものなり。

吾が東洋の實力を培養せんとして以上の縷々所陳、其衷心は西洋に對する敵愾心を有するにあらず。彼此勢力を平均し、世界の平和を完全に且つ永久に保持して彼此人種的區別を撤し、天地を父母とし人類を吾人の同胞とし、幸福を永久に享有せんとする誠に出づるものなり。請ふ東洋各處の同志者と人類を博愛する世界の大方家とに吾人の陳べたる所に憐同を垂れられんことを切に望んで已まざるなり。

放浪漫記

八月三日シンガポールに於て　大谷光瑞

九旬の安居は靜慮禪定の人に適するも、小生の如き散亂放逸の性には堪ふべからず、終に雪山を下り又下界に漂浪致候。印度は地方により五月中旬より六月下旬に於ける期間に於て雨期に入り九月下旬より十月中旬に至る間に於いて雨期を離るを普通とす、而して其來るや南より始めて北に及び其去るや北より南に及べり、昔より是の期間は著しく活動を殺すを以て安居と稱し隱士は巖穴に棲むを例とす、今日に於てもボンベイの如き大市場まで閑散を見るに至る此の雨期は北緯三十六度より五度の邊に至る間に於ては南西風を起すを以て氣象學者は南西信風季と稱せり、是れ十月より三月に至る北東信風に反せり、北東信風は後バイカル及び外蒙古車臣汗土謝圖汗旗の邊に於ける頗る優勢なる高氣壓に依て生じ、南西信風は印度西境の信度河の中流に於ける深厚なる低氣壓によりて起れり、故に北東信風は支那海に强く南西信風はアラビヤ海に猛なり、而してアラビヤ海上の水蒸氣は南西風により陸上に送られ高山を衝き冷凝し雨滴に變ず、而して南より北に及ぶは内陸の熱度の急昇するに從ひ遞減を生ずれば實に太陽の北進に伴はざるべからず故に南先づ熱して而して北に及ぶ、其の去るや北先づ冷かにして而して南に及ぶ[illegible]太陽の南下するに至て溫度の減ずると共に西伯利亞外蒙古の寒冷濃厚なる氣流の遠く萬里の外に達するに由り形勢を一變するに至る、蓋し四月より六月に至る印度中部以北の熱度は驚く可き高度に達し、特に信度河の中部の如きは四月下旬より八月上中旬に至るまでは空氣の溫度華氏の百二十度以上に在るを普通とす、故に此の外方も從つて高溫にして海岸と高丘を除き一千尺以下の地に於ては百四五度を最低とし百十六七度に及べり是れ一天雲なく强烈の光線地上に直射するによる、時に雷雨あるも決して溫度を冷却せしむるに至らず、南西方位の風、信度河中流とアラビヤ海南部（赤道に近し）に於ける高低氣壓の地位に由り旋回氣流を生ずるにより、是方位の風を起すと雖も遂に是を隔つるベンガル灣上に在ては、其方位マラバル海岸（アラビヤ海に面する海岸を云ふ）の如く顯著ならず、却て南より南東に及べり、ヒマラヤに於ても山脈に沿ひ南東風を起せり、然れども其主位につき南西信風の名を下せり、宛も北東信風支那東海支那海に於て其名を生じ、渤海黃海日本海等に於ては北風又は北西風を起すが如し、皆氣流は旋回をなすを以て其名は主位を以て稱せざる可からず、否らざれば常に東西南北を以て云はざる可からず（未完）

◎自動廻轉式キネン萬年筆◎

東付上等クリップ付　特製金ペン付金輪入　定價金壹圓の所　廣告の爲千本限り特價　送料共箱入

五拾錢

數に限りあれば好期を逸せず至急申込まれよ

內外文具商　大阪前樋　松田大寶堂

溫泉　新潟より汽車で卅分

權威アリ趣味アル政治經濟思潮時事雜誌

東方時論　創刊號

社說毎號法學博士吉野作造執筆

日支親善論……法學博士　吉野作造
千歲の好期を看すく去らんとす……竹越三叉
一時的對支政策に反對す……文學博士　內藤虎次郎
不徹底なる對支政策を廢す……男爵　後藤新平
藝術を通して見たる日支兩國々民……幸田露伴
世界統一の大女神……木村鷹太郎
第三夜……山中未成
比律賓群島と日本……法學士　鶴見祐補
東言西語……
唯一升九あるのみ……小山田劍南

九月一日發行　毎號三百頁餘　定價三十八錢　郵税參錢
東京市牛込區加賀町二丁目五番地　東方時論社

好評新刊　泉鏡花新著長篇小說　小村雪岱裝幀　定價九十五錢　送料八錢
星の歌舞伎
都會情緒を描ける傑作中の一大傑作成る
本書は艶麗な美人と落魄せる畫工との奇しき戀物語を先生獨特の美しき文字の働きと凄艶人をおのゝかす奇しき文字の變幻極りない事件を描きて數奇の運命に人を戀はしめ懷しき情緒に人を泣かしむる不朽の傑作也

新刊　谷紀三郎新著　定價七十錢　送料六錢
女への手紙
男より女へ送りたる手紙　悉く情緒纏綿たり
全國各地書籍店雜誌店に賣捌
發兌　東京神田錦町三の六　振替口座東京八七　平和出版社

新學期　會員募集　開講
東京藥學會
藥劑師志望者にして通學の餘暇なき者は入會せよ
藥學の知識を得んとする者及藥業從事者は速に入會せよ
主幹　東京藥學校講師　藥學士　神谷吉兵衛
講師　飯盛前敎頭有賀學士　神谷學士　小島學士　野口學士　村山學士　大河學士　望月學士　稻田學士　福森藥劑士
本會講義錄は內容斬新如何なる初學者にても修得尤も容易
藥劑師となる最近道
此際入會者に三大特典提供
見本會則呈す
東京神田表猿樂町廿五　東京藥學會

寫眞の珍奇文章の雄麗天下の双絶（最新刊）
劍川　志賀重昂先生著
續世界山水圖說
著者が深遠の學識と雄大の筆とを提げて萬里を踏破し、齎し歸れる風物は廣に充ち記載は富に溢る、本書は其粹を萃めたるものにして一讀宛ら大博物館に遊び、名勝古蹟を訪ふて學者古老の說明を聽くが如く、又著者と談論しつゝ世界を旅行するが如し、特に本編には『布哇王より日本親王請嫁の內奏』の如き千古の大發見を始とし百三十の寫眞はいかに人目を驚かし、三十八章の雄篇はいかに讀者の興味をそゝるべきか。今日好書家の架上缺く事を許さゞるは實に此快著なり。
菊判極美裝三百六十頁　挿畫寫眞版圖版十二　其他約百廿圖
定價壹圓六拾錢　郵税內地金八錢
東京神田　富山房　振替五〇二一

文章世界　九月號
小說　車窓……近松秋江
避暑地より……相馬泰三
桔梗の花……田山花袋
畫壇印象……正宗得三郎
甲信旅行記……西村渚山　加能作次郎
歌壇新進十一人集
▽南湖より（有島氏の『陳子へ』を讀む）
▽新しい俳句評釋……荻原井泉水
▽飯を食ひつゝ……北原白秋
▽文壇立志篇……阪本紅蓮洞
▽フロオベル生涯……中村星湖
▽最近の評論家……赤木桁平
▽秋の出品製作（美術家の消息）
定價二十錢　郵税二錢　東京本町　博文館

朝鮮彙報　大正五年九月一日（定價貳拾五錢　郵税貳錢五厘）

口繪　西域洛利和卓苑集女體佛塑像　西域吐魯番壁畫集羅漢像及神像壁畫　全羅南道の孟宗竹林　濟生院養育部盲啞部狀況

□酒税令の要旨……度支部長官　荒井賢太郎
□全羅北道農業所見……總督府技師　中村彥
◎大正四年度濟生院概況◎臨益水利組合事業概要◎水害狀況◎東京に於ける朝鮮米◎朝鮮對大阪貿易◎七月中の朝鮮貿易◎滿洲に於ける朝鮮銀行小額仕拂手形◎各道主要農產物及工藝品◎稻作狀況◎醬油製造人員造石數及價格◎朝鮮北部に於けるニセアカシヤの生育狀況◎國費經營造林事業概況◎栗の播種と被土◎朝鮮在籍船舶數
■朝鮮施政の眞義……中樞院書記官長　小松綠
七月中の鐵道運輸◎經學院講士地方巡回講演◎學校林の經營◎內地學校視察報告◎不動產登記制度◎不動產登記令の施行並地方法院出張所の設置◎警察賞與◎森林と雨量との關係◎孟宗竹林に關する調査◎平壤聯合基督敎大學校長アール、オーレーナー氏新任式演說◎支那地方官々制◎聖僧フランソフ、グザヴ井エー◎地方通信◎雜報◎質疑應答◎敍任及辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例
□印度視察談……總督府技師　阪出鳴海
□臺灣の私設鐵道及軌道……鐵道局參事　鷲尾弘準
▲投稿を歡迎す　原稿締切期限毎月十日
▲販賣店　東京神田巖松堂　朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

●露支兵衝突事件

露國公使本國に訓電を仰ぐ

吉林に於ける露支兵衝突事件に付き北京駐劄露國公使は三十日吉林より詳細なる報告に接したるを以て直ちに本國に電報し訓電を仰ぎたるが二三日内には右訓電に接す可く其上にて支那政府に要求する處ある可しと（北京電報）

●閣員承認案通過

北京内閣員任命承認案は一日衆議院を通過せり（北京公電）

●財政總長見越借款

陳財政總長は大借款の成立を見越し英米資本家より小借款を爲し一時を凌ぎ居れり（北京電報）

●滿鮮露巡遊所感（二）

三線連絡運賃問題と滿鮮の統一

早稲田大學教授 永井柳太郎氏談

今回の旅行は初め大阪から船で大連に直航したのであつたが、大連に上陸すると第一番に三線聯絡運賃問題で各方面の人から議論を聞かされた。大連側の主張は既に世に周知されて居るから今更繰返すの繁を避くべく又朝鮮側及び鐵道院側の意見の要旨も大體承知して居るが、予は此問題に對しては我が帝國の

▲大陸經營上の見地から一個の意見を持つて居る。歐洲大戰滿二年間の經驗に徴し、海陸の交通機關は一旦緩急ある場合に、海上聯絡を出來得る限り短縮し、成る可く陸上の交通機關に依つて聯絡を取る事を計畫して置かなければならぬといふ事を學び得た。申すまでもなく海上航行は兵器進歩の結果陸上聯絡よりも危險の度が非常に多くなつた爲めである。そこで一朝大陸に有事の場合に於ては我が帝國の地形上朝鮮鐵道は最も重要なる

▲陸上聯絡任務を果さなければならない。その爲めには一日も早く縱貫線の全部に複線工事の完成をして置かなければならない。勿論内地の幹線も同時に廣軌に改める事の急務である事は論を俟たぬのである。然し朝鮮の鐵道も複線にしたばかりで使用せねば錆が附くから、平時は其奧地から物資を引出して盛に輸送するが宜し、又歐亞聯絡の幹線たらしめんが爲めには其設備を完うする事も固より必要である。但し複線工事に要する經費は現在の

▲朝鮮財政狀態に於て負擔し得ないといふ事であれば、當然母國の國庫に支出を仰ぐべきである。現在の母國の國庫は此位の要求には應じ得るし亦國民も喜んで承認すると予は信じて疑はない。流石に朝鮮に於ける人士の意見は大局から見たる朝鮮鐵道の大使命を了解して平靜の態度を誤らないのは敬服の至りであるが、さればといひて朝鮮鐵道に斯の大使命あるが故に、大連の利益を餠ぐ結果になつても已むを得ないといふ結論には到達しないのである。如何となれば大連は大連としての

▲別個の使命を持つて居るからである。即ち大連は滿蒙に於ける豐富なる物資の呑吐港として、上海を中心とし揚子江沿岸地方より遠くは香港方面に到る商權を把握する大抱負を以て各般の施設を完うせねばならぬ。大連をして將來に此使命を果さしめんが爲めには今日の大連を衰微せしめぬ樣に援助し、更に進んで積極的の設備を大に施さなければならぬと思ふ。以上述ぶる所の如くであるとすれば、其孰れを重しとし其孰れを輕しとすることは出來ないのである。如斯

▲重大なる問題を決するに當つては是非共我が帝國の大陸經營上に於ける大方針から割出して、決して一時的の姑息なる協定の如きは許すべきでない。必ず愼重なる態度と周密なる研究とを要するものであると思ふ。於此予は久しく識者の間に問題となつて居る滿鮮統一問題に言及したいのである。世間には滿鮮總督といふものを設けては如何といふ說もあるが、それは國際法上不可能の事に屬するから暫く措き、予は朝鮮總督をして關東都督を兼ねしめたならば最も妙であると思ふ。滿鮮統一といつても滿洲は

▲外國の領土であるから、之を統一する譯には行かぬ。畢竟軍事、經濟、交通等の統一を意味するのである。地彊相接し總て聯絡ある統一ある方針に出なければならない滿鮮が一は朝鮮總督府他は關東都督府といふ別々の所から法令二途に出づるといふ事の不便不利は一々列擧の手數を要せざる程明瞭であつて三線聯絡運賃問題の如きは其手近い例である。此種の問題は將來帝國の國力益々增進して滿蒙經營上に於ける各般施設の發展を見るに至れば愈々其滋繁を加ふべきは申すまでもない事であるから、此所に述べたる意味に於ける滿鮮統一を圖る事は

▲刻下の最大急務であると確信するのである。之を現狀に當て籍めて假りに實際問題とするとせば威權あり識見高き寺內朝鮮總督に關東都督を兼ねて頂きたいのである若し此事が實現し得るとせば予は現代に於ける最適任者を最適所に置く事が出來るものであると思ふ。

●七月通信收入

朝鮮通信收入七月分現計を聞くに三十八萬一千七百九十二圓にして前年同期に比し三萬六千五百圓即ち約一割五厘の增加を示せるが收入は各項目共に順調にして鮮內景況の恢復せるを見得べしと

●鴨綠江畔農作

平安北道鴨綠江一帶は每年水害の爲め水稻其他の作物成績良好ならず殊に同地方一帶の農民は鴨綠江內の砂洲其他沿岸の荒地に水稻を播種し收穫を爲すの例あり然るに每年出穗頃には上流の雨水俄に增水し流失の厄に遇ふ事多かりしも當年は植付後降雨順調河水の氾濫なく爲めに十數年來未曾有の豐作なりとて農民の喜悅一方ならず殊に目下米價昂騰の折柄今秋の收穫後に於ては農民は貯蓄心を增加し且購買力を增し經濟上極めて好況を呈するならんと云ふ平安北道第二部長は語つて曰く斯の如き狀態なれば本年の徵稅又良好の成績を收め得るならんと

●忠南米作豫想

本年は水災及び害虫發生等の事故ありしに係はらず非常の豐作にして第二百六十五萬石は收穫する見込にして從來豐作と唱へられし一昨年の百四十萬石より多きこと廿五萬石平年作より四十五萬石增收の見込也（公州）

●財界たより

▲洋紙濠州輸出 三菱製紙會社[illegible]

▲生命保險新傾向 生命保險は從來地方契約獲得の[illegible]せられし大都市は今は反對の現象を呈するに至りしが故に各社はこれまで[illegible]る募集員を大都市[illegible]は漸くにして一般都市の商賈が大體に於て懐合ひの良好なるを認め得るに由れば今後生命保險業[illegible]

[illegible]は殆ど每航載貨充滿の有樣なるが[illegible]に最近に至り同[illegible]は印度棉花積出[illegible]積取不可能の有樣なり而して現時同航路には大阪商船定期六隻二萬三千[illegible]の往航は前記航路同樣復航は鐵鋼麻袋等の積取りにて日本郵船獨占の有樣なり現時同社は七隻二萬噸の外臨時船[illegible]

●咸南繭實收高

咸南地方一帶は養蠶熱の勃興に伴ひ近時斯業の發達實に顯著なるものあり本年各郡に於ける春蠶總實收高に就きては目下咸南道廳に於て調査中なれば未だ精確なる數字を求むるに難しと雖も春蠶の飼育戶數掃立枚數は共に激增を示し居れるを以て之れに依り前年に比較するも實收高に於て優に二倍を下らざるべく即ち四千石の實收高を見るべき見込なりと（元山）

●仁川市場活況

仁川に於ける八月下半の穀物市況は米穀の廻著は期米受渡に依り當切りの二萬八千石取組の準備米にして其他の穀類として引々市況を賑はし居るは大豆と小麥なり何れも新穀にして大豆は京畿道長端邊の出廻多く黃海道は海州之に亞ぎ目下の出來値段は一石八圓五十錢位にて昨年と差なく小麥の出廻りは黃海道を中心とし驛廻あり帆船廻あり每日平均二百石位にて値段は七圓二三十錢見當なり昨年の出初めの八圓二三十錢に比すれば一圓の差を見せたり然るに本年は好出來にして品質非常の佳良なるに拘はらず前年に比して値段の引上らざるは一般需要者が將來を見越して買ひ煽らざる關係あるに由るが現下に在りては輸移出品として仕向けらるゝは殆んど皆無の姿なり多くは醬油等の原料として取引せられ居るが如し中には製粉に供する者ありと雖も之は少數なり米穀は期米準備の爲め廻著し八月下半月の如き前月以上の盛況を極め鐵道、船舶若くは帆船に依りて廻著せし者約二萬石に達し日本米の逆移入のみにて三千九百石糯米の移入も三百石餘あり臺灣米の白米糯米等を合算し是亦五百石其他の郡部にては鎭南浦群山及び釜山より凡そ一萬石計り鐵道便にては羅州の百石を始め金堤三百石江景四百石沃川百石慶山百石井邑三百石永同百七十石廣里千五百石烏山百六十石水原百五十石大田百石等にして黃海道方面より帆船にて廻著せるもあり殆ど二萬石を算せり荷受人は米穀は主として不二興業の受渡準備米を中心として精米所側の重なる者不二興業、力武、江川、庄野、三井、天日の諸精米所なり內地米の逆移入及び臺灣米の移入は松本商店、高杉廻漕店、中川商店、正木商店、顯岡、兒玉商店が荷引受人にて精米所側は專ら糯掃用米の由と云ふ而して日本米の逆移入は幾分代用米として受渡し當切りに在りても無論代用米に提供せらるべく臺灣より移入せる白米糯米は常用口にして精米所以外の需用及び注文に應じ又代用米以外の移入米は三等白米として鮮人向需要供給として沿岸奧地又は島嶼に仕向けつゝあり當切りの受渡は一時至難と稱せられ或は沙上奮語を放たれたるも半は頃より圓滿に取引實行せられ去る廿六日を以て七月切りは一段落を告げたり一方當初の二萬八千石は今明日中に準備米整ふべく今回は幸に天氣續きしたると共に比較的貯藏米の多かりしとに依り殊に良質の米穀を吸集したるは如何に其決心の堅固にして且つ手際の鮮かなるかを徵證せり去れば從前の如く品質に就ての紛擾を生ぜざるべし昨今の廻著は斯くの如く實に驚くべき數字を表はし在米潤澤殊に新穀期を前に控へたる穀物市況は人氣引立ち更に今秋に於ける捲土重來の期を待つ者の如し（仁川）

●京電職制改正

京城電氣會社にては過般の定時株主總會に於て議決したる同社職制改正の件を二日發表同時に幹部の異動ありしが內容左の如し

▲總務課（庶務、購買）▲會計課（計算、出納、倉庫）▲營業課（電燈、電車、瓦斯工務）

總務課長 支配人 木本倉二
營業課長 技師 島田房太郎
會計課長 參事 武者鍊三
庶務係長 同 山內鶴
仁川支店長 同 林慶太郎

●聯隊旗奉拜式

四月八日親授されたる第七十七聯隊旗奉拜の爲め野村聯隊長奉持の下に三十一日新義州發午前十時半義州著守備隊練兵場に於て奉拜式を行ふ同聯隊第一大隊及び川上道長官以下官民多數並に諸學校生徒在鄉軍人會愛國婦人會員は市外に奉迎し直に練兵場に至り分列式を行ひ聯隊長より一場の訓話あり式を終り十二時より義州守備隊は祝意を表する爲め諸官衙長官及び有志者を日露兩大役に由緒ある統軍亭上に招待し祝賀會を擧げ田崎守備隊長の挨拶川上道長官の答詞次で第七十七聯隊の萬歲を三唱し一同之に和し終りて野村聯隊長は大元帥陛下の萬歲を三唱し一同之に和し午後二時閉宴し夜に入りて主なる官民は聯隊長の歡迎會を催したり

●大田水稻收穫豫想

忠南大田郡內に於る水稻は目下出穗の時期に入り面積の約四割は既に出穗を見たりしが八月二十五日より二十八日に至る東風は或は災害をなすに至らずやと一般農家は憂慮せしに通過後何等災害の跡なきのみならず降雨ありたる爲め現在申分なき出來にして收穫豫想は從來の六千九百三町四反歩に昨年土地調査の結果增加を見たる整地二千三百町を加へし九千二百三町四反に對し八萬四百八十石の豫想をなせり是を昨年實收高に比する時は約二割入歩の增加を見る可し

●慶北棉蟲驅除勵行

大邱を中心とし東村、倭館地方に於ける果樹園は年々棉蟲發生の惧ある爲め今春も三千六百圓餘の國庫補助地方費補助を以て大々的驅除をなしたる結果成績佳良にして蟲害殆んど皆無なりしが其後霖雨の爲め點々再發の兆候あり九月下旬に至らば該棉蟲羽化傳播するの惧あるを以て道廳督勵の下に各地共八月廿五日より九月五日に至る十二日間極力棉蟲驅除を遂行せしめつゝあり

●仁川の石油不況

七月中の仁川石油輸移入高は一千九百四圓にして前月の五千餘圓前年同月の三千餘圓に比し何れよりも稍減少せりと雖も素と本品は船便の關係により著しく增減するものなれば一概に論ずることを得ざれども夏期日長の爲め最も不需要期にありて內地の補充的に移出せられたるに過ぎざりしなり市場實行は時節柄不良にして月末は過般の値下げより又々第二値下の時さへありたる位にて九月後ならでは其の活況を見ることなかるべし相場は松印一函五圓八十五錢勝利五圓七十錢所にて弱持合なり（仁川）

●秋季釋奠と講演

九月七日午前九時東小門內經學院に於て秋季釋奠を擧行し引續き講演を行ふ筈にて一般の參拜と來聽とを希望する由因に講師及び演題左の如し

▲經學講演
人有不爲而後可以有爲（孟子） 副提學 子爵 李容植

▲普通講演
朝鮮の富力 農學博士 豐永眞里

●平安國語普及狀況

平安南道に於ける本年上半期中の國語普及狀況は平壤署寺洞駐在所部內指導者巡查二名被指導人員八八名平壤分隊江西派遣所部內指導者憲兵上等兵四名被指導人員二四一名中和署德邑巡查駐在所部內指導者巡查二名順安分隊管內老江鎭出張所部內指導者憲兵上等兵一名補助員一名被指導人員一三三名にして成績總て良好なりと

●地方土調委員會

臨時土地調査局にては來る十一日より各道地方土地調査委員會の開會を通告し目下切りに準備中なるが十一日は平安南道廳にて中和郡の分を開會し本局より佐瀨事務官出張十五日は慶尚南道廳にて南海及び統營郡島嶼の分を開き三木書記出張十五日より十八日までは全南道廳にて靈光、光州、和順、光陽、求禮各郡分を開會伊藤副事務官出席更に十八日全北道廳井邑郡及び沃溝郡島嶼の分を開會し多分和田總務課長出席すべしと

●漢銀出張所開業

株式會社漢城銀行は今般鍾路三丁目に出張所設置の件に就いては既報の通りなるが右は愈々九月一日より開業せり其開業當日の模樣を聞くに預金五十七口金額三萬三千三百圓商業手形割引十二口金額八千九百五十圓にして頗る盛況を呈したりと

●阿部支店課長著期

鮮銀平壤支店長より本店營業局支店課長に榮轉せる阿部秀太郎氏は後任津村支店長との間に事務引繼ぎを了し來る十日頃來任すべしと

●相馬子令息視察

相馬順胤子令息相馬正胤の兩氏は東大の休暇を利用して滿洲方面を見學旅行中去月三十一日入京各所を視察し後仁川に赴き二日夜歸京一泊の上三日歸東の途に就く由

■南言北語■

遲蒔ながら今度蹶起して大人氣もの、羅馬尼はアレでも何うして近世史には赫々たる光彩を放つた國だ▲露土戰爭の時プレウナの包圍戰に露の猛將スコベレフや黑鳩公がオスマンパシヤの爲に二回も敗北し殆ど持て餘した▲其の時羅馬尼軍は必死にプレウナに肉迫し其の結果オスマンパシヤの降服となり露軍の勝利に歸したのであつた▲其處で此の名譽ある戰捷を表彰して羅馬尼帝室の寶冠はプレウナで分捕した土耳其の大砲から製造し歷代の戴冠式に用ひられて居る▲處が現帝は普魯西のホーヘンツオルレン家の出身で皇后は英國皇族エヂンボロー公の息女で希臘の皇室とはアベコベである▲皇后が獨逸出身の希臘は動き相でまだ却々動かぬが英國出身の羅馬尼が終に蹶起したのは面白い▲其れに戰時六十萬の羅馬尼兵は皆獨逸式の訓練を經て居るから強い▲殊に獨逸は此間羅馬尼と新たに通商條約を締結したのだから之でマヅ安心と思つて居たから寢耳に水で吃驚した▲お負けに羅馬尼の穀物と交換した自國製の多數の軍器彈藥は今度自分を討つ武器となるのだから自分で自分の頭を撲る樣なものだ▲チエー口惜しや手飼の犬奴がなんてギリ〳〵齒を嚙む內には羅國兵は最う墺匈國に侵入する事になる▲ヒンデンブルグがブル〳〵武者震をやつたつてもう駄目だ▲希臘と云へば王樣は逃げ出したと云ふ王樣が逃げ出せば後は聯合軍に參加した處で獨逸へは申譯が立つ譯だ▲申譯が立つも立たぬもあるものか申譯をする時分にはもう獨逸はお陀佛になつて居るから其の樣な心配は御無用▲其れとも皇后に義理立てならば其れやお別だ

[illegible]興のため石炭の需要益々多く爲めに九州炭坑に於ては一割制限を廢止したるも供給は尚依然として需要を滿たす[illegible]今頃に比[illegible]後の需要期に入らば益々缺乏し今一段騰貴は免れざるべく思惟せらる

●本月中連絡船變更 本月中の連絡[illegible]

[illegible] 新羅丸 [illegible] 高麗丸

[illegible]を中心とし東村、倭館地方に於ける

金物電氣商
京城龍山漢江通八番地（佐久良座通）
巴商行 樋口米太郎 電話四二四番
京城電氣株式會社製品 コールタール一手販賣（石材販賣）
京城黃金町三丁目（永樂町東入）
巴商行 鑄物工場
大阪久保田鐵工所代理
東京神奈川電氣株式會社代理 電氣部 電話京城一四二五番

合資會社曾我商店
東京丸之內有樂舘
米國紐育エンゲルバルグ精穀機械製造會社 東洋總代理店
諸機械材料直輸入販賣
J.S
曾我商店京城出張所
京城南大門通五丁目十九番地
電話長二六七番 振替京城八九七番
（型錄御申越次第寄呈す）

日韓書房
新版報告
森田幸次郎著 常識養成 碁道大觀 定價一圓二十錢 送料十八錢
片山正雄著 獨選 文法辭典 附詳解 定價二圓四十錢 送料十四錢
奧村繁次郎著 たれにもできるお菓子の拵へ方 定價五十錢 送料八錢
島崎春樹著 藤村文集 定價六十五錢 送料八錢
原友己著 改訂 考試提要 定價四十五錢 送料八錢
京城南大門通二丁目 日韓書房

朝鮮總督府 アイゼル 法定消毒劑
◎コレラ病豫防消毒にはアイゼルを使用すべし
◎アイゼルの四百倍稀釋水は即時にコレラ菌を殺滅せしむ
◎コレラ病流行の際必ず家庭にアイゼルを備へざるべからず
▽アイゼルの特長は石炭酸其他消毒劑の如く有毒性にあらずして而も殺菌力偉大に價低廉也
▽各地著名なる藥店に販賣す
京城鍾路 井上藥品部

……中のものあり

……得するに際し地方に比し遂に困難視……積込に遅延又は解約を申出づるもの……

検事正射殺事件

氏野検事正職に斃る

原因は罪を發かれたる怨恨から　自殺を圖りし犯人遂に死亡す

黄海道載寧憲兵分隊青石頭派遣所附憲兵伍長奥山高治(三九)が二日午前七時頃黄海道海州地方法院検事正氏野徳太郎(四七)氏を其の官舎に訪ひ應接室に於て携帯の軍用拳銃を以て矢庭に氏野検事正を射殺し己れも又拳銃を以て自殺を遂げたる椿事は取りあへず夕刊所報の如くなるが其後の報道に由れば奥山伍長が検事正を訪ひたる時氏野検事正は起床後約一時間ばかり後にて

▲庭内を散歩中　なりしが伍長の訪問を受け快よく應接室に案内させ置き自分も直ちに其の室に入りたりしが間もなく家人は續け様に四發の銃聲を耳にしたるより驚いて其の室に駈込み見れば検事正は胸部に二箇所の貫通銃創を負ひ卓の傍に紅に染まつて即死し相對して伍長は之れも咽喉部に二箇所の貫通銃傷を負ひて苦悶し居るより大騒ぎとなり直ちに慈恵醫院より醫官驅付け應急手當を施したるも氏野検事正は

▲すでに絶切れ　奥山伍長は氣息奄々たる有様なるより直ちに病院に收容手當を加へたるも午前十時頃に至りて死亡したり原因に就ては目下取調べ中なるも奥山伍長は曾て自己の犯罪を検事正に發かれたる事あり爲に一方ならず検事正を怨み居たるを以て検事正の死は全く職に殉じたるものにて誠に氣の毒の至り也

▼空前の出來事　國分司法部長官談

這回の椿事につき國分司法部長官の談に曰く、海州の椿事は實に空前の事件であつて從來曾て朝鮮にも内地にも恁麼事件は發生したことがないと思ふ、兇行の原因は曾て奥山が沙里院の分遣所長として在勤中ある鮮人の犯人を法律によらず不法監禁し

▲且つ毆打強責　したる事實があるので氏野検事正は奥山が憲兵伍長であるところからこれを普通の裁判事件とせずして憲兵隊長に申し送つたのである、其の爲め憲兵隊では目下奥山を取調べ中であつたので彼は非常に氏野氏に含むところがあつたと思ふ現に二日午前七時の兇行當時は検事正を訪問すると同時にいきなりピストルを構へて検事正の右胸部を射撃したのであるが彈丸は續け様に二發命中して居る、兇行後奥山はまたわれとわが咽喉部を射て二日午前十一時絶命した

▲椿事の眞相　は先づ右の次第であるが犯人が既に自殺した以上犯人を取調べると云ふことは不可能なれども氏野検事正が職に斃れたことは事實である、前にも云ふ通り今回の如く司法監督官の職務に斃れるといふやうなことは全く前後に類例の無い事實であつて現に自分なども之れまで脅迫状を送られたことはあるが這回の如く検事正が犯人から撃たれるといふやうなことは全く稀有なことである這回氏野検事正の處置は自分が地方警察官の監督官として其の非違を擧げたのは當然のことである、現に奥山が軍人であるからこれを憲兵隊に送るも亦止むを得ぬ次第である、検事正這回の災難は實に同情に堪へぬ次第であると思ふ。

▼郷黨中での秀才　寺田検事談

氏野検事正の友人なる高等法院検事寺田恒太郎氏曰く、氏野君は奈良縣の産れで少時郷黨中でも

▲秀才と稱ぜられた人であつた、青年時代は一時師範學校にも入學して居たが遂に村夫子たるに甘せず上京して中央大學に學むだやうである、其の間東京では随分苦學したといふはなしもあるが卒業後は判検事試驗に及第して廣島控訴院管内に歴任し常に循鑿を振て出世した人であつた、朝鮮に來たのは明治三十九年、統監府副理事官として元山理事廳に來り後ち久しく大邱の理事官をして居た、其の後統監府裁判所の設けらるゝと共に元の

▲裁判官に還り　平壌覆審法院の検事から光州地方法院長となり更に検事正として這回の海州地方法院に赴いたのである氏野君はまだ四十七才の男盛りで、家族は令閨と子供三人の四人である、性質は平素快活な方で趣味といふては別に取立て云ふ程のこともなかつた、現に數日前も暑中休暇で郷里へ歸つて厳父に會ひ家族を伴れて歸つたといふはなしであるが自分は君が途中釜山で検疫の足止めを喰つたことを初めて新聞で見たやうな次第であつたが俄の兇變は實に氣の毒な至りである

▼加害者の人物　某憲兵將校談

加害者奥山伍長の人物に就きて某憲兵將校は語つて曰く、奥山は岡山縣の士族で明治四十四年頃載寧憲兵分隊文化憲兵派遣所附の上等兵であつたが能筆で事務の取扱ひにも熟達しておた同人は身長五尺五寸餘

▲腕力頗る強く　柔剣道の嗜みあり大の相撲好きであつた又同人は非常な大酒家で徹宵痛飲するも更に醉の廻りたることなく赴任當時は頗る謹厳家を以て自ら任じ寡言にして應對挨拶等沈著であつた更に物事に動せざる豪膽なる男だが稍短慮な風があつた這回兇行を演ずるに至りたるも此の短氣より起りし事だらうと思ふ

戰死下士卒の遺骨

大連より嘉義丸にて内地へ

過般鄭家屯に於ける支那兵暴行の爲戰歿したる下士卒の葬儀及び遺骨遞送等の順序を聞くに九月一日鄭家屯に於て派遣隊長井上大尉の擔任の下に殉難者十一名の葬儀を執行し二日に鄭家屯を發し三江口、八面城及び四平街等に一泊し五日午前十一時四平街忠魂碑前に設置の追悼式場著官民參列し追悼の會式を行ひ了つて午後二時二十四分發第四列車連結の特別車に安置し大連直行にて六日午前八時大連驛著直に本派本願寺別院に安置翌七日出帆の嘉義丸にて内地へ其れ〳〵遞送する筈にて右遺骨の守備隊地内を通過の際は各地第二大隊守備隊とも參拜せしむべき筈なり代表者をして參拜せしめ四平街にては因に開原に於ける有志は同地に於て會式の行はれざるを遺憾とし四平街の追悼會に參列方申し出でたりと云ふ(大連特電)

「放浪」に生れ放浪に死ぬ

遊蕩兒の自殺―謳られたる青年の最後

三十一日正午過ぎ清州東公園の雑木林中に内地人の縊死者あるを附近の鮮童等が發見し旨を清州警察署に急報し來りたるより時を移さず齊藤署長以下數名の警官は現場に馳せ著け慈恵醫院田中醫官の出張を待て検死を遂たるが本人は原籍宮城縣石巻町字仲町六〇番地生れ三木善次郎(二五)とて去る二十六日清州に來り旅館明治館に宿泊中のものと知れたるが死因に就ては更に知る由もなく遺留品としては著用の洋服及び書類のみにて更に遺言書も發見せられず只宿所の机上に有りたる團扇に『放浪に生れ放浪に死ぬ二十五年の生涯眞實もなく虚僞もなし唯だ讃美に憧るゝのみ露江生』と記したるを見るのみなるが同人は去る二十六日夜以來毎夜各料亭に出入してブランデーウイスキー等の強烈なる洋酒を呷り極度の耽溺と肉の抱擁に壓へ難き心の傷を慰め居たるらしく噂はそれ〳〵傳へられて過度の遊蕩が死因なりと云ふものあれど費消したる金額は僅か二十圓餘に過ぎざる由なれば他に深き仔細の有るならんと因に死體は檢視の上旅館に引取り本願寺に於て讀經を濟し棺に納めて三十日夜は火葬場に安置し京城より友人の來清を待つて茶毘に附する筈なりと

鎖を切つて監獄から逃げ出す

強盜の控訴―懲役六箇月に不服を唱へて

慶尚南道泗川郡泗南面仙池里生れの姜聖奎(三三)は強盗罪に依り大正四年十月三十日咸興地方法院にて懲役七年の處分を受け咸興監獄元山分監に服役中同年十一月中恩赦令に浴して五年三箇月に減刑せられたるに本年八月九日午前九時半頃同分監の石垣修繕工事中看守の眼を偸みて聯鎖を切斷して逃走したるが間もなく捕へられ逃走罪として元山支廳にて懲役六箇月の判決を受けたるを不服として京城覆審法院に控訴申立てたり

毒饅頭で大豺を斃す

近來慶北管内にて豺の被害頻々として絶へず當局に於ては是が撲滅に努めつゝある事は既報の如くなるが是れが撲滅方法に就ては巻狩及び毒殺の二方法を用ゐ來れり然るに八月二十七日慶北善山郡善山面後谷山保安林内に於て金六祿韓點同なるもの警察署監督の下に毒饅頭を配置しおきたるが翌朝一頭の大豺が斃死しゐたり同人は翌日も同方法にて豺を斃死せしめたり因に是が奨勵金として警務部は一頭に就き金廿圓宛下附せり

二千圓の横領

小切手を僞造して

兵庫縣明石郡押部谷村生れの藤本喜代次(二五)は郷里にて村役場書記を奉職しゐたることあり大正三年四月中渡鮮して京城南大門通三丁目酒類販賣所百合正宗事務石生方に雇はれ記帳酒類の賣込み賣掛金取立て等に從業中大正四年四月以降本年六月末迄に前後數十回に亘り同店の金員一千九百餘圓を横領し尚本年一月以降四月初め迄に主人不在中同家に第一銀行京城支店の預金あるを以て是が引出し小切手を僞造して五回に金百十圓を騙取し以上二千餘圓は主として京城市中の千歳、かりがね、醉養軒、花の家、花仙、鳥丸、清香園等にて遊興費に使ひ果たし内地に逃げ歸りゐたる所此程本町署に連れ戻され取調べの上檢事局へ送られたり

激浪船底を貫く

仁川港内で船舶の難破

去る三十日夜仁川近海に於ける暴風雨被害は既報の外に仁川花房町木村組有倒船組山丸(三十五噸)は同夜仁川稅關第二棧橋に繋留中風浪の爲め鎖索を切斷され船尾と船腹を石垣に打付けて大破損を蒙り又慶田組所有第二十一號川内丸(五十噸)は同夜前記棧橋に繋留中激浪の爲め左舷船底を打貫かれて沈没し損害前者は船體修理五十圓後者は四百圓の見込なり何れも乗組員には異狀なかりき(仁川)

警察へ　御禮申上候

北海道旭川生れの小泉せつ(二五)は實家の相當なる資産家なるにも拘らず本年五月頃突然自宅を脱け出で遙々遠き朝鮮に渡り來りたるも別に金儲けある譯もなく遂に生活に窮したる結果京城黄金町三丁目飲食店逆薬屋の西田方に下女奉公をなし正に淪落の一歩に陥らんとする際實家より同女の捜索願ひを各府縣地に朝鮮迄も官邊に提出したるにより端なく同女が黄金町居住中なるを本町署に發見せられ懇々説諭を受けたる末親元より送附し來れる旅費金七十圓を手にし七日郷里に立歸り旭川町同井醫院に入院し病氣も快癒したるより此程同人より本町署に宛て『お陰で眼醒めました社會より離れ出で誠に感謝致します〳〵』との返信ありたり

總監部の慰勞會

日獨事件に關する功勞に依り過般行賞されたる警務總監部玄角中野永谷の三課長は今回此の恩典を蒙りたるは全く總監部各課係職員の奨勵によるものなりとして總監部職員百三十餘名を一日午後五時京城ホテルに招待し慰勞會を開き餘興として琵琶讃花師等あり終りて模擬店を開き盛況を極め同九時散會せり

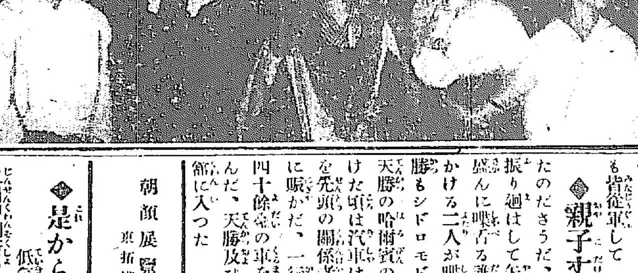
組合教會の臨時講演會

南米倉町京城基督教會にては三日午前十時より山本牧師の『祖國發展』と題する朝拜說教あり午後は特に目下來京中なる自給傳道者好池由太郎氏を聘し八時より『真正の宗教』と題する講演會を開催する筈なれば一般の來聴を歓迎する由

花の踊り子

天勝一座の露佛の女優　乗込み當日車中の天勝

昨年お見得したばかりの御當地へ相變らずの去年通りではと思ひましてね、今年は奇術の方も些し替りましたし、それにお芝居の方もサロメは出さずに今年の二月に東京で演りまして好評を戴いたテレペストを持つて參り尚ほ



[天勝一行乗込―二日夜南大門驛にて　右よりニーナー、マロツコ、天勝、スラウヰナ、ケツサー]

◆露西亞から踊り子　を四人ばかり連れて來て多少目先の變つた所を御覧に入れようと思つて居るんでムいますの、どうぞ宜敷く――と言つたりな天勝、例の愛嬌笑ひで立て續けに是だ。二日六時過ぎ京城に近い京義線の急行列車の食堂で――會ひに行つた記者を見付けるなりの挨拶、此の調子を手品に持つて行つて見物を巻きつけて天勝のメートルの加減は露西亞踊りとあつて大分豪勢だ。『さあさあ皆さん御挨拶!』てな調子で附近の

◆テーブルを陣取て　控へた一行に目配せすると例の露西亞から新加入の佛蘭西女優のマロツコ嬢、開戰前までクラカウに住んでゐた男爵夫人だといふスラウヰナその娘で護謨人形の様に可愛いケツチ(一五)ニーナー(一四)の姉妹が薩張り解らない佛蘭西語や露西亞語で何んとか言ひながら、手を差し伸べて詰め寄る。傍にゐた一光や野呂マネージャーや天勝が兎に角心得て片言隻語に要領を得る、マロツコの方は(二)の妙齢で血色の好い

◆胸から肩にかけて　張り切れさうな豐かな肉を持つた此の種の女の型として申し分の無い顔を持つた女だスラウヰナ(三七)とその娘たちとは表情に富んだ美しい顔の所有者だ。成程拔目の無い野呂支配人が月千五百金を投じて抱ね込んで來たのも尤もだと思ふ、踊りはマロツコが印度、埃及の踊りスラウヰナの親子は露西亞のポイシンダンスに各國のダンスをやつてのける、此のスラウヰナの夫と言ふのも兄弟と

◆親子丈が取殘され　も皆從軍してたのださうだ、此の先生男爵夫人を振り廻はして矢鱈に威張り廻すとか盛んに喋舌る誰でも相手撰ばす話しかける二人が喋舌り出すと流石の天勝もシドロモドロになる程喋舌る、天勝の哈爾賓の話に漸く興が乗りかけた頃は汽車は南大門に著くと樂隊を先頭の關係者が澤山出迎へて馬鹿に賑かだ、一行は赤い提灯を附けた四十餘台の車を連ねて華々しく乗込んだ、天勝及び女優の一行は山本旅館に入つた

朝顔展覧會　東拓横　清香園

是から涼しくなる

低氣壓去つて天候回復

仁川觀測所の氣象觀測係員の談に依れば三十日朝は朝鮮全島は低氣壓の圏内にありて其中心の一つは咸鏡南道附近にあり又別に木浦沖にも小低氣壓存在し共に北東に除行しつゝありし爲め同日正午頃より全島大概雨天となり殊に中部以南西岸地方に多量の降雨ありしもの如く木浦附近尤も風雨烈しく三十一日午前六時迄に雨量九十三粍(一石七斗二升)を計り烈風に達し多少の被害ありたる模様なり仁川は二十九日午後七時三十分より降雨ありしが三十日夜に至り尤も烈しく三十一日午前三時二十分迄繼續し此全雨量六十二粍(一石一斗一升)に達せり而して卅一日朝に至り低氣壓は未だ北東岸部に殘留するも大勢已に回復に向ひつゝあるを以て此處數日間は北西よりの風吹き大概晴天にして朝夕冷氣加はるべしと(仁川)

京日案内

普通　一回前金一行十五字詰　三十錢　番外　六十錢

▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

購買　龍山陸軍倉庫　精米及玄米購買ス詳細ハ九月參日以降ノ朝鮮官報ニ在リ

普通

◎地所家屋賣渡　總坪數百廿餘坪建坪十七坪木造平家建別に温突四場所　善隣商業附近櫻井町一の卅四弓場　160

◎高等外務員並派遣員採用す　▲有月給外手當　◇身元確實者來談　京城本町五丁目郵便所北隣　忠愛義會　162

古本　高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店　163

◎店員(外勤)二名至急入用　履歴書携帶本人來談(要保證人)　本町一の四九電一三七八　松榮堂書店　157

店員募集　年廿二歳より三十歳迄　販賣に充分經驗ある者本人來談　大和町二丁目　高橋醬油釀造所　149

◎製藥に實驗ある者二名入用　◇齒藥町二丁目百二十番地　▲大橋大三郎　53

姙婦産婦預所(規則申込次第送呈)○京城産養院○　京城南山町二の三五　電取次一三三九　148

男女入用　衣服染物に經驗ある者數名　店員入用　本人面談要保證人　大和町三の十二　松屋號　福田親光　52

外交員募集　日本火災保險會社代理店　京城永樂町二丁目六〇　徳田商會　電話二三二五番　133

◎松汀里光州間自動車は太田木浦間の列車に聯絡す　▲光州加藤自働車運輸部

番外

▼周易観相…見料随意…試みに評られよ必ず中る法螺でなし　永樂町一ノ九商品陳列館通板中　途均陵庵　172

鑛山技術員　素養と經驗ある者採掘長として招聘す手當月五十圓以上給す希望者は左記へ(履歴書送附あれ)　京城日報平壌支局宛　146

◎當地及滿鮮内各地方外務員日鮮人募集　希望者履歴書持參照會要返信料　京城大和町一ノ五一　日鮮恒榮社　169

▼信用の出來る古本と古樂器店は　ウツボヤ書店　本町二　電二五二七　165

◎十六七歳男店員數名雇入希望者は至急來談あれ　新龍山三角地前　陸軍御用菓子商　石見堂　電三二一番　166

◎見習入用　年十五六小學卒業以上京龍に確實なる身元引受人二名を要す履歴書送れ　仁川本町　白神洋行　171

◎湯屋讓る　町の盛にて讓り渡したし詳細は仁川町二丁目釘本商店電話四五、二七番に御問合せあれ　場所大和町　造作付現狀の事　138

◎京城春川間　廣橋自働車　京城春川間毎日午前八時出發　賃金片道四圓　南大門通一丁目　電話二一九番　京春　主務　金正淵　592

手輕く遊べる　遊川舟　一人乗迄數隻を備へ　百人乗の舟　貸廿錢五人乗以上八人へ　御川遊貸舟共樂社　蕃龍山電車終點　電五二八　122

見テモ　イテモ　涼しい布引　アエンカデンブン入りの新式てんかふんデス　本町一　荒木藥房　18

質　大勉強　確實　誠意　永樂町一丁目商品陳列館前　チヨツコン下る　ハダ　秦　170

店員入用　但し年齡十七八歳より廿歳迄　希望者本人來談あれ　電話一五六二番　京城本町三丁目　近藤金物店　167

恩給　年金　長期　短期　即時現金立替　無保證　月利二歩二厘五毛　京城南大門外(舊御成町)　山口屋　168

寫眞機　寫眞材料　京城明治町二丁目　長崎屋商店　電話二二〇番

古錢　いろは別古錢價格表　定價廿錢送料二錢　圖六百餘種挿入　振替大阪一二三五〇番　發行所　大阪松屋町博物北　家村書店

信用ある東京三金の特賣

ボックス製長靴　長サ一尺三寸　金四圓八拾錢　一尺五寸　金五圓五拾錢

ボックス革製編上　第一號　金貳圓五拾錢　第二號　金參圓五拾錢　第三號　金四圓五拾錢

ボックス革製雙型　第一號　金貳圓五拾錢　第二號　金參圓五拾錢　第三號　金四圓五拾錢

ボックス革製深ゴム　第一號　金貳圓九拾錢　第二號　金參圓九拾錢　第三號　金五圓五拾錢

右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般貴川紳士靴として好適なり　▼御注文の節は靴型と足袋の文數御通知あれば代金引換小包(送料實費)にて送附す　最新目錄御入用の方に進呈　東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝一六九〇番　振替東京一七二三番

長壽靈品は「ヨーグルト」　京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇〇四番　滋養と健康の母は「荒井の牛乳」

新刊書御案内

書名	著者	定價
弓張月	曲亭馬琴編　葛飾北齋繪	一二五〇
綴方新教授法の原理	駒井鶴吉　五味義武	一三〇
改版最新日本地圖	富山房編	一六〇
轉地療法山と海	竹中繁次郎	七〇
蘭菲獨露戰法	南越狹作	六〇
實地盛花瓶華秘法	旭東軒池坊英山	一〇〇
獨逸大英國の危機	宮家壽男譯	七五
近頃儲かる商賣百種	金々先生	六五
坐禪指南	吉祥寶全澄師	八〇
大ナポレオンの妻	永代静雄	六〇
寫眞のうつし方	三宅克己	七五
瞬間催眠術	松方正宏	八〇
各國參照工場法要義	田邊新一	六〇
朝鮮語法律問答	阪上嶺吉	四〇
受驗必讀朝鮮行政法規大意		四〇
同會話譯文速成	同	四〇
朝鮮の衣食住	村上唯吉	二五
日露怪談海底地獄	江見水蔭	八〇
一人で樂める西洋カルタ	第一編	三五
子規句集講義	俳書堂藏版	九〇
新式園藝寶典	鈴木五段	七〇
簡易五先布石攻合法	中川龜三郎	三〇

大阪屋號書店　京城本町　電話一六〇六　振替京城一二五三七

女鳩

渡邊默禪

『九三』部屋の搜索

『もういゝわ、お前あちらに去つといで』秀子は腮の先で言つた。

『用が足りたかね。ぢや退るだが用があつたら又た呼出してくれさつしやい。白い黒いの裁決がつかねねうちは警察でも裁判でも何處へでも私出るだからよ。いゝかね』お竹は大きなお臀をやいこらさと擡げながら『まア眞實に油斷がなんねね。家のなかにこんな泥坊が巣くつてゐるやうぢや、今に私の所へもお鉢が廻つて來べいね。行李に錠でもかけて置くべわかの、やれ〳〵怖ねい〳〵』と捨詞をいつた。

住江は默つて俯いたきりになつてゐた。秀子は更に次の間に居合せたお孝を呼んだ。

『あのお孝や、お前ね』

『はい』手を支いた。

『みんなと一緒に住江の部屋を檢めて下さい。念の爲だから』

『あら、そんなことを致しましても宜しうございますか』

『いゝも不可もないぢやないか、最う動かすことの能きない事實なんだもの。遠慮することはないから、手の屆くだけお搜しなさい。さうして有つたら有つた、無ければ無いと有の儘に私しへ爾う言つて下さい。朋輩を庇はうなんて詰らない義理を立てゝ、嘘を言つたりすると承知しませんよ。よござんすか』

『はい、畏まりました』後を向いて『さア皆さん。秀さまのお吩咐です。どうぞ立會つて下さいな』

俯垂れてゐた住江の耳に、三四人の女中が一緒になつてぞろ〳〵と自分の部屋へ押かけて行く足音が聞えた。それでも彼女は身動ぎ一つやらずに凝然と硬くなつてゐた。

『ちよいと、住江や』前から射るやうな凄い眼を向けて、その顔を覗き込んでゐた秀子が、どう思つてか急に低い柔かな語調になつて『お前、今のうちに如何だい。手輕に砕けてくれちやあ……實はそんな氣ぢやなかつたんです、只ちよつとお惡戯をして、貴女を困らしてやつて、後で笑ひませうと思つて外に隱して置いたゞけのことですから、どうぞお宥しなすつて下さいと、そんな風に睹過して了ひよ、そしたら私しもその積りで、皆なの前はうまく取繕つて、何んでもないやうに笑つて濟ますから。さ、爾うなさいな。嘘にもせよ、泥坊の惡名なんか負はされちや詰らないぢやありませんか』小兒でも賺すやう。

『……』住江は答へなかつた。

『私し、別に惡意を持つちやゐないのよ。只お前をいぢめる樣にとられても困るし、長いこと家の爲になつてくれたお前でせう、言はゞ思婢よ。その忠實なお前に瑕をつけたりなんかしたくないから、お前の利益を思つて注意するんだわ。どう思ふこと?住江』

『……』それでも無言。

『さ、早くよ。部屋を搜したりなんかすると面倒になるからさ』

促立てるやうに言つた。住江は稍と顔を擧げた。

『有難う存じますが、それはお斷り申します。私しは臭い物に蓋をしたり、瞞過したりするとは大嫌ひな性分でございますから、盜つた物は盜つた、盜らない物は盜らないと、きつぱり御詮議を遊ばして下さいまし』

是だけ言つてきゆつと唇を咬んだ。それが深く決心した樣子にも見え、自暴になつての捨鉢らしくも聞做された。

『ぢや、如何なつても可いんだね。後で私を怨む樣なことはないね』

『はい、どうぞお心の晴れるやうに御存分に遊ばして』

『爾う』

二人の間に不氣味な沈默が續いた。目と目は互ひに遇れ合つてゐたけれども、折々或る一角に戛然と打突つては、燃ねた感情の火花を散らしてゐた。

と、廊下にどかどかつといふ足音がして、部屋の捜索に向つた女中們が急いで戻つて來た。

鳩笛の遠音にもつる雨後の水　同
風捲れの秋思はする蚊帳の色　同
蚊帳捨つるに秋を吹く樹の立てる　淡水
水口に鮒の簗や落し水　同
商痛さに寝られぬ夜や遠砧　同
網張つて鳩呼ふ笛の高鳴りす　同
露臺一杯に破れ棚干すや菊の鉢　中京
落し水落る溜りや鮒の群れ　同
落し水水門半ば閉ぢてあり　同
砧打つ夜深し猫鼠捕る　同

新刊紹介

▲財政經濟時報(九月號) 地方金融の改善と銀行組織(本多精一)歐洲戰爭後の最近財政經濟事情(増田喜之介)支那現事の實業(鶴堂生)等外財界の近情、當面の政局は時局と商品調査、米國の資本家と日本の頭腦等重要記事多し(二十錢東京市赤坂區青山南町五の三三共社)

▲拓殖新報(南洋開發記念號) 瓜哇植民政策の一變(新渡戸稻造)家庭上より得たる海外思想の缺陷(村山金平)同業上の南洋(坪谷善四郎)南洋の產業と資本及び人物(穗積拂)世界に於けるゴム事業の概況蘭領東印度外國貿易の輸出入比較表其他十數の記事悉く南進の好資料(二十五錢東京市下谷區北稻荷町四共社)

▲滿鮮實業界(八月號) 鮮銀奉天借款と小額兌券の發行に就て(鄭衛星人)運賃問題の經過と眞相並に其影響(藤野圭幹)及び支那に於ける獨逸人の商略、本年上半期の大連貿易、實業家新事務家の見道す(からざる參考資料(三十錢大連伊勢町八共社)

▲趣味之友(九月號) 南洋の工藝美術(大岡壽郞)流行の模樣と色彩(泉俊秀)等趣味講座開設の趣味に於ける小山内薫氏の『舞臺通論』に就て田邊尚雄氏の『音樂通論』に就て(山崎樂堂)氏の建築通論に就て黑田朋心氏の『美學及び藝術學概論』に就て及び『大日本美術史』に就て等他く泣趣味本位(二十四錢東京市神田區表神保町共社)

▲樺太大歡迎會が近々浪花館であるさうだが語り物は壺坂、寺子屋、堀川を出し三味線は是非共文平に彈いて貰ひたい(天狗一同)▲薄利多賣も品に依りけりだ湯屋の薄利多賣もチト考へものだ第一君等は自己を本位として言ふのであらう湯錢の高いと言ふのも自己一人の利害關係から言ふのであらう無〇眼〇の湯屋が有つて無方針にも十枚を五錢にして内密に札を賣るなども他を顧視せさる自己の利害關係から出でたことゝしか思へぬ君等は個人の利害にて一回僅に一錢乃至二錢に留るも湯屋當局は衆人を相手にするのじやからその影響は夥しい若も不肖の言が氣に入らぬとなら試みに君が湯屋を開業して當業者に成つて見給へ其時は四錢がよし五錢に成つても默つて居るぢやらう第一君等は細心だからいかん一錢二錢の處に力瘤を入れて居乍ら底の無い桶に水を汲み込む樣なことをして居るから氣が知れぬて心氣一轉今少し氣の利いた處に力瘤を入れてくれ給へセコンドは時々、刻々、刹那に變遷して極り盡くることは無い徒に貴重の光陰を勞費して衆を誣すこと勿れ不肖は君等の大開眼せられんことを希望する者なり(老婆心)▲平壤は一名蠅城だと謂れる程蠅は有名なものだが今年は府廳で蠅の買上げをやつたので一時其跡を絶つた樣な感があつたが近頃買上げを廢止したら又候ブン〳〵と其所等を飛廻る誠に何うも始末の惡い五月蠅でなくて八月蠅だ又々府廳で買上げを初められたら如何ですか(蝴蝶生)

天長節俳座

○　盧中子
宿坊や伽藍の屋根に霧動く
綱人の洲鼻に小さし川霧す
虫鳴くや城の大手の鏡石

○　たかし
山霧を吹き集め去る谿の風
朝霧や大樹をこめて杣の路
朝霧や自動車で發つ友送る

○　田打夫
霧しく〳〵温泉の山窓を流れ鬼
朝霧や晴るゝほど湖擴ごれり
織り止めて燭把ほ窓虫の聲

大田湖南吟社小集(一)

昨夜よりの土砂降りに大田温泉行の計畫見事に外づれて燒蕎麥氣味の同人なかく〳〵承知せず天長の佳節をムヤ〳〵雨に籠居は眠たし〳〵と折からの月池先生の來田を好機として歡迎句會を開く〳〵した鶏龍山の頂に秋ながら雨晴らしの夕日差し頂より丸萬亭の離座敷に曲りくれりの絲瓜顔を集めた併し白羽の矢は又もや腕くし反れて先生途に來たらず御案内役の逸興の郭や大亦大尖

課題　砧　落し水　秋蝸　初吹

和解の田水二筋に落しけり　桃雨
娘身寶の涙砧にまぎらせり　同
夫乳貰に出るを見送る砧哉　同
畦道寒う鳩吹の影長し　同
蠣惜のは空に澄む瀧不動の灯　同
疊替て机の廣し蠣の果　同
落し水に小魚をあさる童子哉　宵峰
山の鶴銜に響き鳩笛す　同
縋びもまゝよ針うし九月蠣　同
落し水畦に小魚の干上れり　紅星
夜をこめて砧響きけり空澄めり　同
落し水に藥屑影行く魚の腹　侍宵
夜明りの庭に砧の音空へ　同
砧聞く月出る前の明るみ　同

大阪期米

寄付　一四、三八　一四、九〇　一五、一五

[illegible]

▲大に賣方

[illegible]

▲休日越し如何

[illegible]

最上醬油・許特機械製 ほまれ味噌

絕對的品質本位

鮮滿釀造界唯一の名譽

於始政五年朝鮮物產共進會 金牌受領

釀造元 仁川港 日本醬油株式會社 電話七五一番 振替京城一七四番

京城出張所 電話二四五番 振替京城五二三番

朝顔咲かすには肥しが大事 體肥るには次亞燐飲に限る

夏季
▲貧血、多病、虛弱の人
▲肺病胃腸神經衰弱の人
▲産前産後病後疲勞の人
病ひ易き人 夏痩する人

暑中の牛乳代用に適當

▲試用五拾錢 ▲小瓶八拾錢 ▲中瓶壹圓卅錢 ▲大瓶貳圓四也 ▲各藥店にあり

大阪 藥劑師 本舖 小西久兵衛

營業目錄

罐詰 乾物 海產 雜穀物 洗濯石鹼
漆器 家具 文具、紙 農具 綿、レヨベル 金物
陶磁器 簾 芦屛風 花莚
荒物 履物 澤庵、茶 昆布 鰹節 酒、石油
乳母車 雨傘 東京 簞笥 碁盤 蠅取紙

仁川新町 津田兄弟屋本店
仁川宮町 津田兄弟屋支店
京城本町 津田兄弟屋支店

電話七六二番 振替口座京城三八九番

僕の腦病は救はれたり!

コレ學理と實驗上より研鑽を重ねたる 健腦丸常用の結果!!

腦病特効藥

主効
□腦充血 □腦膜炎 □神經痛 □逆上症 □卒中 □中風 □耳鳴 □頭痛 □眩暈 □健忘 □便秘 □癇症

特長
健腦丸を少量宛常用せば逆上を引下げ便通をよくし恐る可き腦充血を快治し、中風卒中を未發に防ぎ記憶力の増進を促す特効あり。

藥價
四回分 金二拾錢
半週分 金四拾錢
一週分 金七拾錢
二週分 金一圓卅錢
三週分 金一圓八拾錢
五週分 金二圓八十錢
十週分 金五圓
全國藥外藥店ニアリ

大阪 東京 本舖 丹平商會藥房

最上醬油 鶴

京城府龍山元町 關西商會讓造所 電話三十九番 振替口座京城七三九番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸 九月七日 正午出帆
高砂丸 九月十七日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆

仁川海岸町 電話十二番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 九月七日 後四時出帆
○大有丸 九月十六日 後四時出帆
○神代丸 九月十四日 後四時出帆
○秀吉丸 九月十一日 後四時出帆

仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

鐵道會社及社外朝鮮と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相成候

本社 電話長一九五二番一一三番 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

門司より釜山各港經由浦鹽航路
○全羅丸 九月九日
○京畿丸 九月九日
○黃海丸 九月十三日
○成鏡丸 九月三日
釜山發

元山より各港經由雄基行
○穩城丸 九月一日
○昌平丸 九月八日
○鏡城丸 九月四日
元山發

城津、清津、浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行
○忠淸丸 九月十五日
○平壤丸 九月八日
元山發

○永興丸 北內珠、五里浦行 毎月廿八回 元山發
○蔚德丸 北浦、九龍里、浦項、浦浦等經由鬱陵島行 九月一日 釜山發
○江陵丸 ○寧海丸 長生浦方魚鎭寄港 毎日 釜山發 浦項發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各港寄港 九月六日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 各港經由麗水行 ○○巨濟丸 ○慶寶丸(三日目一回麗水浦行) 毎日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 九月五日 木浦發
○慶興丸 南多島海列島行(月三回) 九月一日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行東廻 九月三日 木浦發
○宗信丸 濟州他各港經由、巡洞又は自御島行 九月五日 仁川發
○江原丸 青島、大連、芝罘行 九月五日 仁川發
○臨水丸 ○智州丸 各港經由木浦行 九月一日 七日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 毎日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆

外航所關航路並淸航路を除く間連絡線の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
須磨丸 九月八日
安東丸 九月五日 後五時出
大智丸 九月十四日
××○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
濟州丸 九月十日 正午出
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
信濃川丸 九月十四日 後二時出
×信濃川丸 十月一日
○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
大智丸 九月十二日 後二時出
○鎭南浦、大連行
信濃川丸 九月廿七日 後二時出
信濃川丸 九月九日
○南浦、關門、神戸、大阪行
大智丸 八月三十日 正午出
○大連直行
福州丸 九月 六日 正午出帆
○群山、釜山、横濱行
福州丸 九月十二日 後二時出
○淸津、浦潮行(元山出帆)
印、城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
▲安平丸 九月十六日 後二時出
宮島丸 九月二日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
津北丸 九月二日 後四時出
滿北丸 九月十三日 前六時出

御注意 ◎朝鮮鐵道及び附帶航路との聯絡切符一時中止仕候 △印は貨物取扱不仕候 ●印は延航汽船出帆
切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇五〇番
◎中國四國沿岸各港行荷客に對し二割引

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
立神丸 月 日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行
立神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三翠平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三翠平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行
天與丸 毎月二日九日十四日午後十時出帆
日廿一日廿六日

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大邱浦項間自動車時間

上り 一番 二番
浦項發 前六、三〇 後一、〇〇
安康同 七、一〇 一、四〇
慶州同 八、〇〇 二、三〇
阿火同 八、五〇 三、二〇
永川同 九、五〇 四、二〇
河陽同 一〇、三〇 五、〇〇
大邱着 一一、〇〇 五、三〇
下り 一番 二番
大邱發 前六、三〇 後一、〇〇
河陽同 七、一〇 一、四〇
永川同 八、〇〇 二、三〇
阿火同 八、五〇 三、二〇
慶州同 九、五〇 四、二〇
安康同 一〇、三〇 五、〇〇
浦項着 一一、〇〇 五、三〇

浦項待合 電話七番 大塚農場自動車部
大邱出張所 電話一一七番

金泉間自動車時間 金泉織居自動車支部

▲小荷物運搬仕り候

上り 一番 二番
金泉發 前八、三〇 ―
倭館發 九、三〇 ―
星州發 一〇、一〇 ―
成山發 一一、〇〇 ―
醴泉發 一二、〇〇 ―
尙州着 後一、〇〇 ―
下り 一番 二番
尙州發 前八、三〇 後[illegible]
醴泉發 ―
成山發 ―
星州發 ―
倭館發 ―
金泉着 ―

金泉電話四八番

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 阿波丸
第一六同丸 九月三日 後二時入 九月二日 前十一時出
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱仕候 大連にては青島行定期船と連絡取扱仕候 同航路は郵船延航航路取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆)
第一双鳳丸 月 日後九時出 月 日雄基行
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出 月 日

本町一丁目(電話一〇八番) 阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 山下回漕部 日本町(電話二四七番)
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇七) 河村運送店